

木材の環境貢献度表示に係る技術支援 報 告 書

認定 **NPO** 法人才の木

平成 25 年 3 月

はじめに

本報告書は、林野庁の補助事業である地域材供給倍増事業（公共建築物への地域材の利用促進及び木質バイオマスの利用拡大）の一環として木材の環境貢献度表示に関わる技術支援として実施した「環境貢献度表示の促進事業」の最終報告書である。本事業では、加圧式保存処理木材の原単位についての格納支援を行った後、7社の保存処理木材及び防腐木材のカーボンフットプリント(CFP)算定支援を行った。さらに、MDF(1社)についての CFP マーク使用許諾までの支援を実施した。CFP 算定事業には、企業からの申し込みを受け、次いで具体的な作業のためのヒアリング、流れ図の作成、調査によるデータの取得、算定のための計算等を行い、最終段階の申請書作成支援までを含んでいる。加えて、木質バイオマスボイラーの環境影響評価について、測定調査を行い、バイオマスエネルギーの原単位に関わる算定資料の一助とした。

森林・林業基本計画では、森林施業の集約化や路網整備など森林・林業再生プランの実現に向けた取組を推進し、木材自給率 50%を目指すとしている。この目標を達成し、木材利用の拡大による森林の適切な整備や地球温暖化抑制への貢献を実現するには、地域材利用を促進するための実需を拡大させる必要があり、関連する情報の公平性と透明性を通じたエンドユーザー（消費者や市民）の地域材利用への理解醸成が大切である。このために、地域材の炭素貯蔵量、間伐貢献度について表示する仕組みと地域材製品に係る CFP の算定・表示等による環境貢献度の透明性確保が喫緊の課題であり、本事業の成果の活用が期待される。

なお、本事業の実施にあたり多くの関係団体にご協力・ご支援をいただいた。ここに関係各位に対して深甚なる謝意を表する。

平成 25 年 3 月 25 日

認定特定非営利活動法人 才の木
理事長 川井 秀一

目 次

はじめに

A. カーボンフットプリント算定に係る PCR 整備

1. 序	1
2. 木製製品 PCR の改訂	2
3. 木箱容器包装 PCR の策定	4
4. 吹込み用木質繊維断熱材(日本工業規格外品)PCR の策定	4

B. カーボンフットプリント算定支援

1. 序	5
2. 昨年度算定製品の今年度審査分	6
1) 加圧式保存処理木材 CFP の算定〔CR-CC02-12001〕	6
2) 加圧式保存処理乾燥木材 CFP の算定〔CR-CC02-12002〕	8
3) 保存処理構造用製材(AAC-1・K3)CFP の算定〔CR-CC02-12003〕	10
4) 防腐防蟻処理構造用合板 CFP の算定〔CR-CC02-12004〕	12
5) 屋内用 ACQ 処理木材 CFP の算定〔CR-CC02-12005〕	14
6) 屋外用 ACQ 処理木材 CFP の算定〔CR-CC02-12006〕	16
3. 木質繊維断熱材(成型板)CFP の算定と申請〔CR-CC02-12007〕	18
4. 樹脂含浸単板積層木材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-12008〕	21
5. 防腐防蟻処理構造用合板(2 種・BAAC)CFP の算定と申請 〔CR-CC02-12009〕	24
6. 防腐防蟻処理構造用合板(2 種・ACQ)CFP の算定と申請 〔CR-CC02-12010〕	27
7. 乾燥造作材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13001〕	30
8. 木質繊維断熱材(吹込用)CFP の算定と申請〔CR-DI01-13001〕	33
9. 未乾燥製材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13002〕	36
10. 乾燥製材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13003〕	39
11. 熱処理木材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13004〕	42
12. 木製パレット(未乾燥製材)CFP の算定と申請〔CR-CD02-13001〕	45

13. 木製パレット(乾燥製材)CFP の算定と申請〔CR-CD02-13002〕	48
14. 中密度繊維板(1)CFP の算定と申請〔CV-CC02-13005〕	51
15. 中密度繊維板(2)CFP の算定と申請〔CV-CC02-13006〕	53
16. パーティクルボード CFP の算定と申請〔CV-CC02-13007〕	55

C. カーボンフットプリント表示拡大

1. CFP 普及促進のためのセミナー	57
2. CFP 普及促進のためのエコプロ 2012 展示	58
3. CFP 普及促進のための印刷物	59

A. カーボンフットプリント算定に係る PCR 整備

1. 序

木材は環境に優しい材料であると言われているが、環境に優しいという表現は人によって捉え方が異なる。例えば、人間健康への優しさや材料生産が森林という自然の中で行われる優しさ、材料製造に化石資源由来のエネルギーなどの使用が少なく済むという優しさ、廃棄すると自然に戻るという優しさなどである。

環境への優しさを定量的に評価する、すなわち見える化する手法としてライフサイクルアセスメント（以下、「LCA」という）がある。LCA では、対象製品の原材料調達から製造、使用、廃棄に至る製品のライフサイクルで投入された資源やエネルギーの量とその過程で出る排出物が、地球温暖化やオゾン層破壊などをどれだけ引き起こしているのかを定量的に知ることができる。この報告書で扱う環境に優しいとは、製品が一生の間に地球環境に及ぼす影響の少なさを意味する。

様々な環境問題のうち、地球温暖化のみを取り上げて、優しさを評価する手法がカーボンフットプリント（以下、「CFP」という）である。CFP の値が小さいほど地球温暖化への影響は少ないので、日常生活の中で CFP 値のより小さな物を購入し、使用したり消費するだけで、自ずと地球温暖化防止に貢献できることになる。すなわち、地球温暖化を防止する行動を起こそうと仕掛けても、多くの市民がそれに応えることは難しいので、CFP 値の小さい物を買おうという分かり易い呼びかけにより、それほど意識せずに地球温暖化防止に貢献してもらうという取り組みが CFP 事業である。

一方、森林・林業再生プランの「10 年後の木材自給率 50%以上」という目標を達成し、木材利用拡大による森林の適切な整備や地球温暖化防止への貢献のためには、公共建築物等への地域材の積極的な利用促進や木質バイオマスの利用拡大が重要である。それには、環境への貢献度を客観的に評価・表示する制度の導入も必要となる。

経済産業省は平成 21 年度から 3 年間に渡り CFP の試行事業を実施し、CFP 算定に必要な商品種別算定基準（Products Category Rule、以下、「PCR」という）の策定基準や CFP の算定結果及び表示方法の検証に関する規程を制定し、PCR 策定支援と CFP 検証とマーク使用許諾製品を生み出してきた。林野庁もそれに歩調を合わせて木材製品を対象に PCR の策定支援と CFP の算定支援を行ってきた。本報告書は、認定 NPO 法人才の木が林野庁の平成 24 年度地域材供給倍増事業における木材の環境貢献度表示に係る技術支援事業に応募・採択された当該事業の成果を取りまとめたものである。

事業は、CFP 制度が平成 24 年度から社団法人産業環境管理協会によって本格的に実施されたことから、それに参画を希望する企業等に行った CFP 製品種別基準（CFP-PCR）の策定、CFP-PCR に基づく木材製品の CFP 計算支援と CFP 検証支援で構成される。

2. 木製製品 PCR の改訂

木製製品 PCR (PA-CD-01) は、表 1 に示されている製品を対象として第 1 版が平成 23 年 3 月 30 日に策定された。

PA-CD-01 の PCR は、

http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_authorize/000098/PA-CD-01.pdf

に開示されている。

表 1 木製製品 PCR (PA-CD-01) の対象製品

附属書 A : 木製製品 PCR 対象製品一覧 (規定)

[]内は日本標準商品分類の番号

対象製品			備考
フローリング[126]	単層フローリング [1261]		用語の定義※1
	複合フローリング [1262]		用語の定義※2
木製及び竹製容器[255]	木製容器[2551]	木箱[25511] (ソーメン箱、酒箱、果物箱、うに箱、贈答品箱等)	
その他の住生活用品 [85]	ごみ箱[8594]		
	衣料用ハンガー[8591]	木製衣料用ハンガー[85911]	
	他に分類されないその他の住生活用品[8599](ティッシュケース等のインテリア雑貨)		
	芸術及び装飾品 (銀製、銀めっき及び同類似金属製品を除く) [855]	額縁[85543]	
	ふろ場用品[85232]	その他のすのこ[8523239]	
調理用具[771]	木竹製調理用具[7715]	まな板[77151]	
食卓用ナイフ、フォーク、スプーン、はし及び同付属品[776]	はし、はし箱及びはし置き [7762]	はし[77621]、はし置き[77623]	
その他の台所用品及び食卓用品[779]	木竹製食卓器具[7745]	盆類[774514]	
	木竹製食料貯蔵器具[7755]	弁当箱[775513]	
台所用ハンガー及び同類似製品[853]	台所用ハンガー[8531]	木製台所用ハンガー[85311]	

※1 ひき板を基材とし、厚さ方向の構成層(以下「構成層」という。)が1のフローリング(裏面に防湿および不陸緩和を目的として積層した材料を接着したものを含む。)をいう。

※2 単層フローリング以外のフローリングをいう。

しかし、木製及び竹製容器[255]は、紙やプラスチック、金属、ガラス製の容器や容器包装という PCR が独立して策定されており、それらの容器と対等に CFP が算定されるべきである、すなわち当該製品のみの PCR を策定したいとの事業者の意向があったこと、新たに木製パレットの CFP 算

定希望があり、当 PCR の対象製品に加えたいとのことから、改定することとなった。

その結果、コンサルタントの支援を得て、木製製品 PCR は、PA-CD-02 として、平成 24 年 12 月 21 日に改定され、対象製品は表 2 のようになった。

PA-CD-02 の PCR は、

http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_authorize/000150/PA-CD-02.pdf

に開示されている。

表 2 木製製品 PCR (PA-CD-02) の対象製品

附属書 A : 木製製品 PCR 対象製品一覧 (規定)

[]内は日本標準商品分類の番号

対象製品			備考
フローリング[126]	単層フローリング [1261]		用語の定義※1
	複合フローリング [1262]		用語の定義※2
その他の容器[259]	パレット[2592]		※3
その他の住生活用品 [85]	ごみ箱[8594]		
	衣料用ハンガー[8591]	木製衣料用ハンガー[85911]	
	他に分類されないその他の 住生活用品[8599](ティッシ ュケース等のインテリア雑 貨)		
	芸術及び装飾品(銀製、銀め つき及び同類似金属製品を 除く) [855]	額縁[85543]	
	ふろ場用品[85232]	その他のすのこ[8523239]	
調理用具[771]	木竹製調理用具[7715]	まな板[77151]	
食卓用ナイフ、フォーク、スプーン、はし及び同付属品[776]	はし、はし箱及びはし置き [7762]	はし[77621]、はし置き[77623]	
その他の台所用品及び 食卓用品[779]	木竹製食卓器具[7745]	盆類[774514]	
	木竹製食料貯蔵器具[7755]	弁当箱[775513]	
台所用ハンガー及び同 類似製品[853]	台所用ハンガー[8531]	木製台所用ハンガー[85311]	

※1 ひき板を基材とし、厚さ方向の構成層(以下「構成層」という。)が1のフローリング(裏面に防湿および不陸緩和を目的として積層した材料を接着したものを含む。)をいう。

※2 単層フローリング以外のフローリングをいう。

※3 パレット[2592]の内、木製パレットのみを対象とする

3. 木箱容器包装 PCR の策定

木製製品 PCR (PA-CD-02) から木製及び竹製容器[255]が除外されたことを受けて、コンサルタントの支援を得て、平成 24 年 3 月 11 日に木製容器包装 (PA-DJ-01) が策定された。その対象製品は表 3 の通りである。

PA-DJ-01 の PCR は、

http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_authorize/000152/PA-DJ-01.pdf

に開示されている。

表 3 木製容器包装 PCR (PA-DJ-01) の対象製品

2	対象とする製品種別の定義	
2-1	製品種別	木材を主原料とし、内容物の保護及び保管を目的に利用する木箱を対象とする。 日本標準商品分類の番号では2551(木製容器)、25511(木箱)、25514(折箱)に部類されるものを対象製品とする。 木箱の製造方法は、主に糊づけと釘打ちがあるが、特に製造方法は問わない。 具体例としては、ソーメン箱・酒箱・おせち箱・果実箱、機械の梱包用等がある。ただし、塗漆等を施した工芸品としての木箱は製品の使用目的に合致しないことから、対象外とする。

4. 吹込み用木質繊維断熱材(日本工業規格外品)PCR の策定

建物に使われる断熱材の PCR には平成 23 年 9 月 20 日に制定された建築用断熱材 (PA-CK-01) がある。この対象製品は、JIS 規格品のみとなっており、木質繊維系断熱材として、ボード状断熱材に区分されるインシュレーションボードと吹込み用断熱材に区分される吹込み用セルローズファイバー断熱材がある。前者は木材・木質材料 PCR (PA-CC-02) で対象となっていることから、PA-CK-01 では除外されており、後者は古紙リサイクル品であり、木材チップから製造の吹込み用木質繊維断熱材は今のところ非 JIS 製品であることから対象になっていない。

この製品は、JIS と非 JIS を問わず対象としている PA-CC-02 で扱うには施工方法が大きく異なることから、新たな PCR を、コンサルタントの支援を得て、平成 25 年 2 月 5 日に吹込み用木質繊維断熱材 (日本工業規格外品) (PA-DI-01) として策定した。

PA-DI-01 の PCR は、

http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_authorize/000151/PA-DI-01.pdf

に開示されている。

B. カーボンフットプリント算定支援

1. 序

製品の CFP を算定するルールである CFP-PCR が整備されれば、それに従って当該製品の CFP を算定する作業に移れる。この算定には、PCR を熟知し、LCA の概念に沿って CFP を算定する必要がある。この様なノウハウが CFP 検証・申請を希望する事業者にも必ずしも蓄積されていないことから、本補助事業により、CFP 算定、検証、申請の側面支援を行ってきた。

ここでは、それらの成果を大きく二つに分けて、報告する。一つは、平成 23 年度事業で CFP の算定を行い、締切までに検証申請したものの、CFP 事務局の審査可能数を大幅に越えた申請数があったことから、締切が早められ、審査の受付が行われずに、次年度に持ち越されて優先的に審査が受け付けられた 6 製品の結果報告である。もう一つは、平成 24 年度に CFP が本格実施される中で、CFP 申請支援を希望する事業者を才の木のホームページで公募し、応募のあった事業者の製品について算定などの支援を行った結果の報告である。

CFP 宣言認定製品の掲載順は、CFP 検証に合格した後に、CFP 宣言を行う事業者がその結果の登録・公開手続きを行い、CFP マーク使用許諾契約書を交わすと、CFP 事務局より交付される CFP マークデータに記載の登録番号の若い順とした。

2. 昨年度算定製品の今年度審査分

1) 加圧式保存処理木材 CFP の算定〔CR-CC02-12001〕

【申請事業者】

越井木材工業株式会社, 〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158

【対象製品】

CB ウッド

【対象期間】

2010 年 5 月～2011 年 4 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP の算定が完了した(平成 23 年 8 月 20 日)。

② CFP 検証運営事務局より、最終の申請締切日を待たずに 8 月末で受付を締切る可能性が出てきた旨が通知された(8 月 24 日)。そのため、8 月 25 日に急遽 CFP 検証の申請を行ったが、同日に受付終了により不受理の連絡が届いた。

③ その後、事業者が独自に申請および登録・公開した(平成 24 年 7 月 24 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

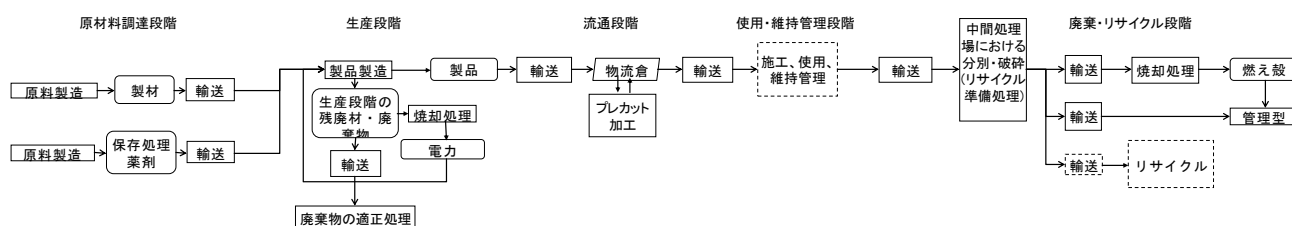


図 当該製品の製品フロー

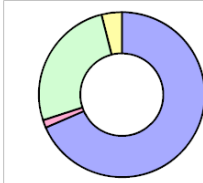
【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は次ページの通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000562/CR-CC02-12001.pdf

1. 製品情報		
1.1	登録番号	CR-CC02-12001
1.2	製品名称(日本語)	CBウッド
	製品名称(英語)	CB Wood
1.3	製品型式	-
1.4	製品の主要仕様・諸元	製品分類: 加圧式保存処理木材、最終財 仕様: 寸法90×90×3000又は4000mm、寸法105×105×3000又は4000mm、寸法120×120×3000又は4000mm 用途: 住宅用建材の構造材(保存処理性能区分K-3(JAS規格)、K-3相当(AQ認証))
1.5	CFP算定単位	単位材積(m ³)

2. 事業者情報		
2.1	事業者名(日本語)	越井木材工業株式会社
	事業者名(英語)	KOSHII&CO.,LTD.

3. CFP算定結果および表示方法																																													
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	213 kg		ライフサイクル全体のCO2排出量																																									
3.2	内訳(ライフサイクル段階別)																																												
	原材料調達段階	1.46E+02	kg-CO ₂ e	【(※) 数字の表記について】 「E」は指数表記を意味します。 「2.00E+03」は、 「2.00×10の3乗(1000)」 になります。 ＜指数表記の例＞ 1.23E+02 ⇒ 123 1.23E+00 ⇒ 1.23																																									
	生産段階	3.21E+00	kg-CO ₂ e																																										
	流通段階	5.56E+01	kg-CO ₂ e																																										
	使用・維持管理段階	-	kg-CO ₂ e																																										
	廃棄・リサイクル段階	8.40E+00	kg-CO ₂ e																																										
CFPマークへの表示方法																																													
3.3	マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容>		<表示方法の種別>																																									
		材積1m ³ あたり213kg		単位量あたりCO2排出量																																									
	追加情報表示部の 記載内容	(追加情報表示部へ記載する内容をそのまま記入する。)  ■ 原材料調達段階 ■ 生産段階 ■ 流通段階 ■ 使用・維持管理段階 ■ 廃棄・リサイクル段階 貯蔵炭素量は200kg(CO₂換算で733kg) 1年あたりのCO₂排出量は7.10kg(寿命30年) (製品1本あたりCO₂排出量はAkg)																																											
3.4	備考	貯蔵炭素量の計算は製品中の木材の全乾重量を400kg/m³としてPCRの付属書Fに従って求めた。 3.3のAに代入する、製品1本あたりのCO₂排出量は以下の通り。 製品1本あたりのCO₂貯蔵量は以下の通り。 製品1本あたりのCO₂排出量およびCO₂貯蔵量一覧 <table><thead><tr><th colspan="3">製品寸法</th><th>1本あたりCO₂排出量</th><th>1本あたりCO₂貯蔵量</th></tr><tr><th>厚さ(mm)</th><th>幅(mm)</th><th>長さ(mm)</th><th></th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>90</td><td>90</td><td>3000</td><td>5.18 kg-CO₂</td><td>17.81 kg-CO₂</td></tr><tr><td>90</td><td>90</td><td>4000</td><td>6.90 kg-CO₂</td><td>23.75 kg-CO₂</td></tr><tr><td>105</td><td>105</td><td>3000</td><td>7.04 kg-CO₂</td><td>24.24 kg-CO₂</td></tr><tr><td>105</td><td>105</td><td>4000</td><td>9.39 kg-CO₂</td><td>32.33 kg-CO₂</td></tr><tr><td>120</td><td>120</td><td>3000</td><td>9.20 kg-CO₂</td><td>31.67 kg-CO₂</td></tr><tr><td>120</td><td>120</td><td>4000</td><td>12.27 kg-CO₂</td><td>42.22 kg-CO₂</td></tr></tbody></table>				製品寸法			1本あたりCO ₂ 排出量	1本あたりCO ₂ 貯蔵量	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)			90	90	3000	5.18 kg-CO ₂	17.81 kg-CO ₂	90	90	4000	6.90 kg-CO ₂	23.75 kg-CO ₂	105	105	3000	7.04 kg-CO ₂	24.24 kg-CO ₂	105	105	4000	9.39 kg-CO ₂	32.33 kg-CO ₂	120	120	3000	9.20 kg-CO ₂	31.67 kg-CO ₂	120	120	4000	12.27 kg-CO ₂	42.22 kg-CO ₂
製品寸法			1本あたりCO ₂ 排出量	1本あたりCO ₂ 貯蔵量																																									
厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)																																											
90	90	3000	5.18 kg-CO ₂	17.81 kg-CO ₂																																									
90	90	4000	6.90 kg-CO ₂	23.75 kg-CO ₂																																									
105	105	3000	7.04 kg-CO ₂	24.24 kg-CO ₂																																									
105	105	4000	9.39 kg-CO ₂	32.33 kg-CO ₂																																									
120	120	3000	9.20 kg-CO ₂	31.67 kg-CO ₂																																									
120	120	4000	12.27 kg-CO ₂	42.22 kg-CO ₂																																									

4. 算定条件		
4.1	認定PCRの名称	木材・木質材料
4.2	認定PCRの番号	PA-CC-02
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度試行事業用CO ₂ 換算量原単位データベース(暫定版) ver. 3
4.4	参考データ適用日	2012/3/29

(※) 共通原単位データベースおよび参考データについては、Webサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

2) 加圧式保存処理乾燥木材 CFP の算定〔CR-CC02-12002〕

【申請事業者】

越井木材工業株式会社、〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158

【対象製品】

CB ドライ

【対象期間】

2010 年 5 月～2011 年 4 月

【登録までの経緯】

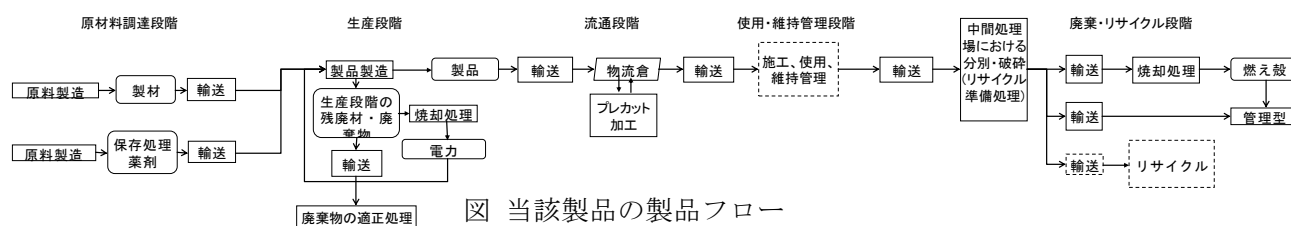
① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP の算定が完了した(平成 23 年 8 月 20 日)。

② CFP 検証運営事務局より、最終の申請締切日を待たずに 8 月末で受付を締切る可能性が出てきた旨が通知された(8 月 24 日)。そのため、8 月 25 日に急遽 CFP 検証の申請を行ったが、同日に受付終了により不受理の連絡が届いた。

③ その後、事業者が独自に申請および登録・公開した(平成 24 年 7 月 24 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。



【CFP 宣言認定登録情報】

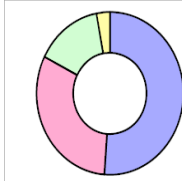
登録情報は次ページの通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000563/CR-CC02-12002.pdf

1. 製品情報		
1.1	登録番号	CR-CC02-12002
1.2	製品名称(日本語)	CBドライ
	製品名称(英語)	CB dry
1.3	製品型式	-
1.4	製品の主要仕様・諸元	製品分類: 加圧式保存処理木材、最終財 仕様: 寸法90×90×3000又は4000mm、寸法105×105×3000又は4000mm、寸法120×120×3000又は4000mm 用途: 住宅用建材の構造材(保存処理性能区分K-3(JAS規格)、K-3相当(AQ認証))
1.5	CFP算定単位	単位材積(m3)

2. 事業者情報		
2.1	事業者名(日本語)	越井木材工業株式会社
	事業者名(英語)	KOSHII&CO.,LTD.

3. CFP算定結果および表示方法

3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	285 kg	ライフサイクル全体のCO2排出量	
3.2	内訳(ライフサイクル段階別)			
	原材料調達段階	1.46E+02	kg-CO ₂ e	【(※) 数字の表記について】 「E」は指数表記を意味します。 「2.00E+03」は、 「2.00×10の3乗(1000)」 になります。 <指数表記の例> 1.23E+02 ⇒ 123 1.23E+00 ⇒ 1.23
	生産段階	8.89E+01	kg-CO ₂ e	
	流通段階	4.16E+01	kg-CO ₂ e	
	使用・維持管理段階	-	kg-CO ₂ e	
	廃棄・リサイクル段階	8.40E+00	kg-CO ₂ e	
CFPマークへの表示方法				
3.3	マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容>	<表示方法の種別>	
		材積1m ³ あたり285kg	単位量あたりCO2排出量	
3.3	追加情報表示部 の記載内容	(追加情報表示部へ記載する内容をそのまま記入する。)		
		 ■ 原材料調達段階 ■ 生産段階 ■ 流通段階 ■ 使用・維持管理段階 ■ 廃棄・リサイクル段階 貯蔵炭素量は200kg(CO₂換算で733kg) 1年あたりのCO₂排出量は9.50kg(寿命30年) (製品1本あたりCO₂排出量はAkg)		
3.4	備考	貯蔵炭素量の計算は製品中の木材の全乾重量を400kg/m ³ としてPCRの付属書Fに従って求めた。 3.3のAに代入する、製品1本あたりのCO ₂ 排出量は以下の通り。 製品1本あたりのCO ₂ 貯蔵量は以下の通り。 製品1本あたりのCO ₂ 排出量およびCO ₂ 貯蔵量一覧		
		製品1本あたりのCO ₂ 排出量およびCO ₂ 貯蔵量一覧		
		製品寸法		
		1本あたりCO ₂ 排出量	1本あたりCO ₂ 貯蔵量	
		厚さ(mm)	幅(mm) 長さ(mm)	
		90	90 3000 6.93 kg-CO ₂ 17.81 kg-CO ₂	
		90	90 4000 9.23 kg-CO ₂ 23.75 kg-CO ₂	
		105	105 3000 9.43 kg-CO ₂ 24.24 kg-CO ₂	
		105	105 4000 12.57 kg-CO ₂ 32.33 kg-CO ₂	
		120	120 3000 12.31 kg-CO ₂ 31.67 kg-CO ₂	
		120	120 4000 16.42 kg-CO ₂ 42.22 kg-CO ₂	

4. 算定条件		
4.1	認定PCRの名称	木材・木質材料
4.2	認定PCRの番号	PA-CC-02
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度試行事業用CO2換算量原単位データベース(暫定版) ver. 3
4.4	参考データ適用日	2012/3/29

(※) 共通原単位データベースおよび参考データについては、Webサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

3) 保存処理構造用製材(AAC-1・K3)CFP の算定 [CR-CC02-12003]

【申請事業者】

大日本木材防腐株式会社, 〒455-8680 名古屋市港区千鳥一丁目 3 番 17 号

【対象製品】

モクボードライウッド

【対象期間】

2010 年 7 月～2011 年 6 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP の算定が完了した(平成 23 年 8 月 24 日)。

② CFP 検証運営事務局より、最終の申請締切日を待たずに 8 月末で受付を締切る可能性が出てきた旨が通知された(8 月 24 日)。そのため、8 月 25 日に急遽 CFP 検証の申請を行ったが、同日に受付終了により不受理の連絡が届いた。

③ その後、事業者が独自に申請および登録・公開した(平成 24 年 7 月 30 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

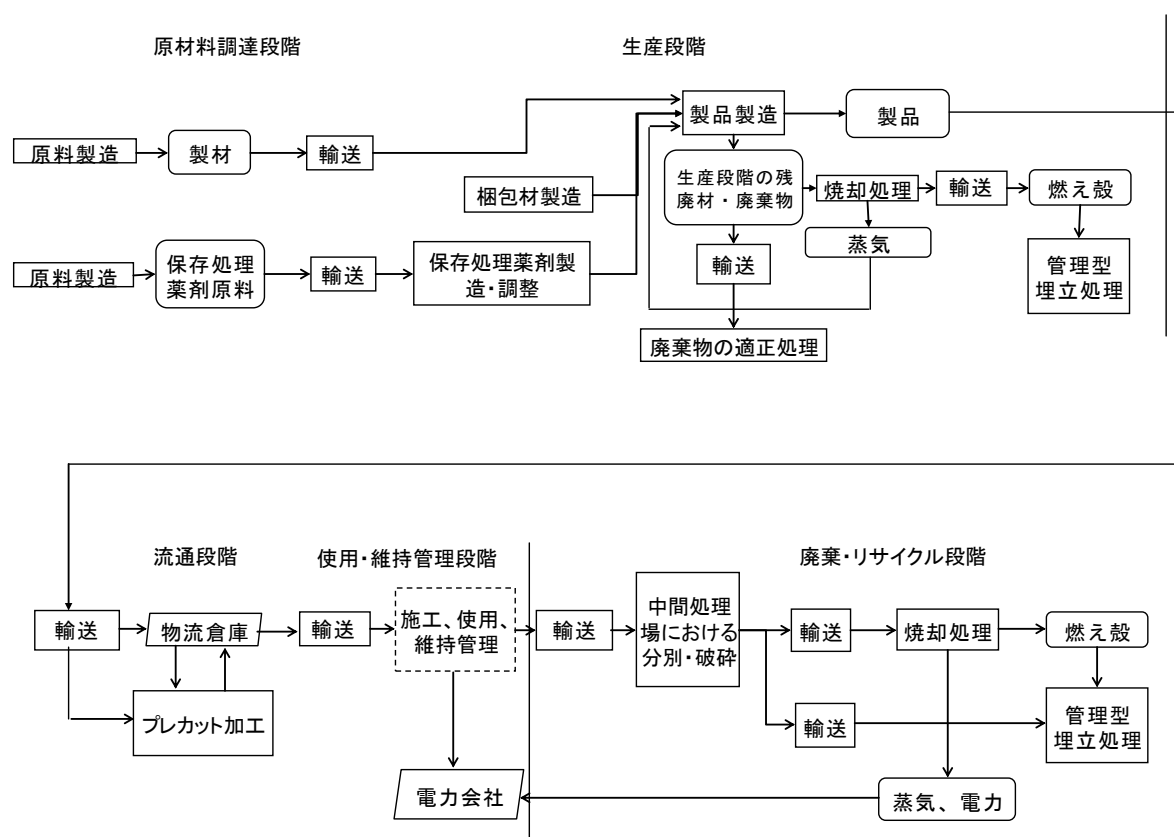
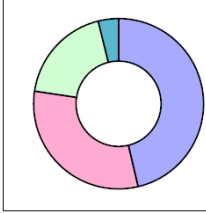


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は次ページの通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000573/CR-CC02-12003.pdf

1. 製品情報																																																				
1.1	登録番号	CR-CC02-12003																																																		
1.2	製品名称(日本語)	モクボードライウッド																																																		
	製品名称(英語)	Mokubo Dry Wood																																																		
1.3	製品型式	—																																																		
1.4	製品の主要仕様・諸元	JAS保存処理構造用製材(AAC-1 保存処理K3), JAS枠組壁工法用製材(AAC-1 保存処理K3) 樹種:ペイマツ 「仕様 サイズ: 90×90×長さ3,000~4,850mm :105×105×長さ3,000~4,850mm :120×120×長さ3,000~4,850mm」																																																		
1.5	CFP算定単位	製品材積1m3あたり																																																		
2. 事業者情報																																																				
2.1	事業者名(日本語)	大日本木材防腐株式会社																																																		
	事業者名(英語)	Dainihon Wood Preserving Co.,Ltd																																																		
3. CFP算定結果および表示方法																																																				
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	257 kg	ライフサイクル全体のCO2排出量																																																	
3.2	内訳(ライフサイクル段階別)																																																			
	原材料調達段階	1.19E+02	kg-CO ₂ e																																																	
	生産段階	7.98E+01	kg-CO ₂ e																																																	
	流通段階	4.82E+01	kg-CO ₂ e																																																	
	使用・維持管理段階	—	kg-CO ₂ e																																																	
	廃棄・リサイクル段階	9.89E+00	kg-CO ₂ e																																																	
3.3	CFPマークへの表示方法																																																			
	マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容> 257kg	<表示方法の種別> 単位量あたりCO2排出量																																																	
	追加情報表示部 の記載内容	・本製品は、1m3あたりに880kg-CO₂の二酸化炭素を貯蔵している。 ・本製品の耐用年数は平均30年と設定している(1年あたりのCO2排出量は8.6kg)。  ■原材料調達段階 ■生産段階 ■流通段階 ■使用・維持管理段階 ■廃棄・リサイクル段階 サイズごとの1本当たりのCO2排出総量及び貯蔵量一覧 1)CO2排出量(単位:kg/本) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="4">長さ(mm)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>3,000</th> <th>3,650</th> <th>4,000</th> <th>4,850</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90mm 角材</td> <td>6.2</td> <td>7.6</td> <td>8.3</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>105mm 角材</td> <td>8.5</td> <td>10.3</td> <td>11.3</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>120mm 角材</td> <td>11.1</td> <td>13.5</td> <td>14.8</td> <td>17.9</td> </tr> </tbody> </table> 2)CO2貯蔵量(単位:kg/本) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="4">長さ(mm)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>3,000</th> <th>3,650</th> <th>4,000</th> <th>4,850</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90mm 角材</td> <td>21.4</td> <td>26.0</td> <td>28.5</td> <td>34.6</td> </tr> <tr> <td>105mm 角材</td> <td>29.1</td> <td>35.4</td> <td>38.8</td> <td>47.1</td> </tr> <tr> <td>120mm 角材</td> <td>38.0</td> <td>46.3</td> <td>50.7</td> <td>61.5</td> </tr> </tbody> </table>			長さ(mm)					3,000	3,650	4,000	4,850	90mm 角材	6.2	7.6	8.3	10.1	105mm 角材	8.5	10.3	11.3	13.7	120mm 角材	11.1	13.5	14.8	17.9		長さ(mm)					3,000	3,650	4,000	4,850	90mm 角材	21.4	26.0	28.5	34.6	105mm 角材	29.1	35.4	38.8	47.1	120mm 角材	38.0	46.3	50.7
	長さ(mm)																																																			
	3,000	3,650	4,000	4,850																																																
90mm 角材	6.2	7.6	8.3	10.1																																																
105mm 角材	8.5	10.3	11.3	13.7																																																
120mm 角材	11.1	13.5	14.8	17.9																																																
	長さ(mm)																																																			
	3,000	3,650	4,000	4,850																																																
90mm 角材	21.4	26.0	28.5	34.6																																																
105mm 角材	29.1	35.4	38.8	47.1																																																
120mm 角材	38.0	46.3	50.7	61.5																																																
3.4	備考																																																			
4. 算定条件																																																				
4.1	認定PCRの名称	木材・木質材料																																																		
4.2	認定PCRの番号	PA-CC-02																																																		
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度試行事業用CO ₂ 換算量共通原単位データベース(暫定版)ver.3.0																																																		
4.4	参考データ適用日	2012/6/18																																																		

(※) 共通原単位データベースおよび参考データについては、Webサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

4) 防腐防蟻処理構造用合板 CFP の算定〔CR-CC02-12004〕

【申請事業者】

大日本木材防腐株式会社，〒455-8680 名古屋市港区千鳥一丁目 3 番 17 号

【対象製品】

モクボード

【対象期間】

2010 年 7 月～2011 年 6 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP の算定が完了した(平成 23 年 8 月 24 日)。

② CFP 検証運営事務局より、最終の申請締切日を待たずに 8 月末で受付を締切る可能性が出てきた旨が通知された(8 月 24 日)。そのため、8 月 25 日に急遽 CFP 検証の申請を行ったが、同日に受付終了により不受理の連絡が届いた。

③ その後、事業者が独自に申請および登録・公開した(平成 24 年 7 月 30 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

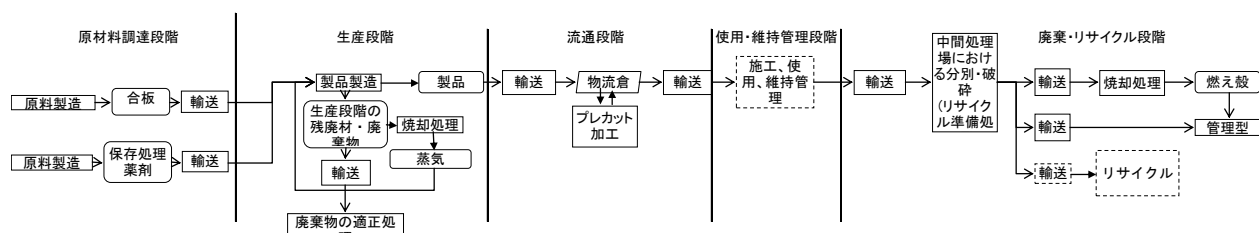


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は次ページの通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000574/CR-CC02-12004.pdf

1. 製品情報		
1.1	登録番号	CR-CC02-12004
1.2	製品名称(日本語)	モクボード
	製品名称(英語)	Mokuboard
1.3	製品型式	
1.4	製品の主要仕様・諸元	防腐防蟻処理構造用合板 樹種:針葉樹(カラマツ, ペイマツ, スギ) サイズ「幅:910mm 長さ:1,820mm, 2,440mm, 2,730mm, 3,000mm 厚み:9mm, 12mm, 15mm, 18mm, 24mm, 28mm」の組合せ
1.5	CFP算定単位	製品材積1m3あたり

2. 事業者情報		
2.1	事業者名(日本語)	大日本木材防腐株式会社
	事業者名(英語)	Dainihon Wood Preserving Co.,Ltd

3. CFP算定結果および表示方法

3.1

CFP算定結果
(カーボンフットプリント)

390kg

ライフサイクル全体のCO2排出量

3.2

内訳(ライフサイクル段階別)

原材料調達段階

3.00E+02

kg-CO₂e

生産段階

4.03E+01

kg-CO₂e

流通段階

4.15E+01

kg-CO₂e

使用・維持管理段階

—

kg-CO₂e

廃棄・リサイクル段階

8.28E+00

kg-CO₂e

3.3

CFPマークへの表示方法

マーク本体
(必須情報部)
の記載内容

<記載内容>

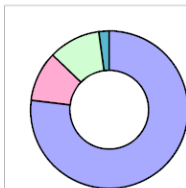
390 kg

<表示方法の種別>

単位量あたりCO2排出量

追加情報表示部
の記載内容

・本製品は、1m3あたりに733kg-CO2の二酸化炭素を貯蔵している。
・本製品の耐用年数は平均30年と設定している(1年あたりのCO2排出量は、13.0kg)。



原材料調達段階

生産段階

流通段階

使用・維持管理段階

廃棄・リサイクル段階

サイズごとの1枚当たりのCO2排出総量及び貯蔵量一覧

1)CO2排出量 (単位:kg/枚)

幅(mm)	厚み(mm)	長さ(mm)			
		1,820	2,430	2,730	3,000
910	9	5.8	7.8	8.7	9.6
910	12	7.8	10.3	11.6	12.8
910	15	9.7	12.9	14.5	16.0
910	24	15.5	—	—	—
910	28	18.1	—	—	—

2)CO2貯蔵量 (単位:kg/枚)

幅(mm)	厚み(mm)	長さ(mm)			
		1,820	2,430	2,730	3,000
910	9	10.9	14.6	16.4	18.0
910	12	14.6	19.5	21.9	24.0
910	15	18.2	24.3	27.3	30.0
910	24	29.1	—	—	—
910	28	34.0	—	—	—

3.4

備考

4. 算定条件		
4.1	認定PCRの名称	木材・木質材料
4.2	認定PCRの番号	PA-CC-02
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度試行事業用CO2換算量原単位データベース(暫定版) ver. 3
4.4	参考データ適用日	2012/6/18

(※) 共通原単位データベースおよび参考データについては、Webサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

5) 屋内用 ACQ 処理木材 CFP の算定 [CR-CC02-12005]

【申請事業者】

株式会社コシイプレザービング, 〒559-0026 大阪市住之江区平林北 2-9-145

【対象製品】

屋内用 ACQ 処理木材

【対象期間】

2010 年 7 月～2011 年 6 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP の算定が完了した(平成 23 年 8 月 22 日)。

② CFP 検証運営事務局より、最終の申請締切日を待たずに 8 月末で受付を締切る可能性が出てきた旨が通知された(8 月 24 日)。この時点で株式会社コシイプレザービング担当者に申請書の確認を依頼していたが、この旨を担当者に伝え連絡を待っている間に受付終了の連絡が来たため、提出することが出来なかった。

③ その後、事業者が独自に申請および登録・公開した(平成 24 年 12 月 5 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

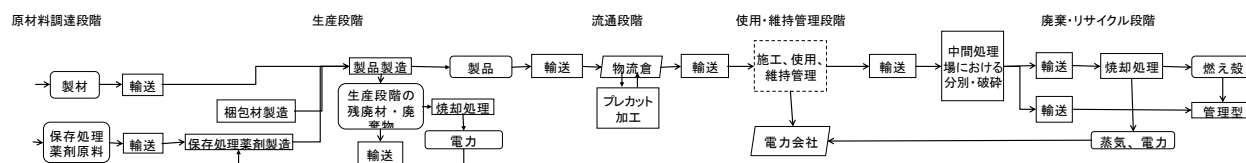


図 当該製品の製品フロー

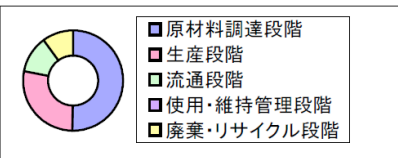
【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は次ページの通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000615/CR-CC02-12005.pdf

1. 製品情報		
1.1	検証番号	CR-CC02-12005
1.2	製品名称(日本語)	屋内用ACQ処理木材
	製品名称(英語)	ACQ Treated Woods for indoors
1.3	製品型式	屋内用加圧処理木材
1.4	製品の主要仕様・諸元	薬剤吸収量2.6kg/m ³ (樹種がスギ材で人工乾燥日数2日)
1.5	CFP算定単位	製品材積1m ³ あたり

2. 事業者情報		
2.1	事業者名(日本語)	株式会社コシイプレザービング
	事業者名(英語)	Koshii Preserving Co.,Ltd.

3. CFP算定結果および表示方法			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	153kg	ライフサイクル全体のCO ₂ 排出量
3.2	内訳(ライフサイクル段階別)		
	原材料調達段階	7.68E+01	kg-CO ₂ e
	生産段階	4.26E+01	kg-CO ₂ e
	流通段階	1.81E+01	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0.00E+00	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	1.53E+01	kg-CO ₂ e
3.3	CFPマークへの表示方法		
	マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容>	<表示方法の種別>
		材積1m ³ あたり153kg	単位量あたりCO ₂ 排出量
3.3	追加情報表示部 の記載内容		
3.4	備考		

4. 算定条件		
4.1	認定PCRの名称	木材・木質材料
4.2	認定PCRの番号	PA-CC-02
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度試行事業用CO ₂ 換算量共通原単位データベース(暫定版)ver.3
4.4	参考データ適用日	平成24年4月3日

(※) 共通原単位データベースおよび参考データについては、Webサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

6) 屋外用 ACQ 処理木材 CFP の算定 [CR-CC02-12006]

【申請事業者】

株式会社コシイプレザービング，〒559-0026 大阪市住之江区平林北 2-9-145

【対象製品】

屋外用 ACQ 処理木材

【対象期間】

2010 年 7 月～2011 年 6 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP の算定が完了した(平成 23 年 8 月 22 日)。

② CFP 検証運営事務局より、最終の申請締切日を待たずに 8 月末で受付を締切る可能性が出てきた旨が通知された(8 月 24 日)。この時点で株式会社コシイプレザービング担当者に申請書の確認を依頼していたが、この旨を担当者に伝え連絡を待っている間に受付終了の連絡が来たため、提出することが出来なかった。

③ その後、事業者が独自に申請および登録・公開した(平成 24 年 12 月 5 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

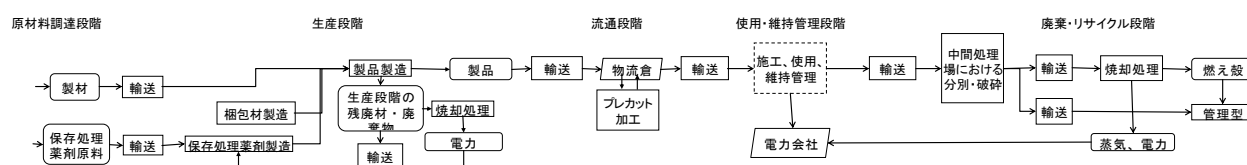


図 当該製品の製品フロー

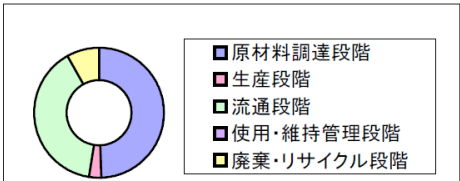
【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は次ページの通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000616/CR-CC02-12006.pdf

1. 製品情報		
1.1	検証番号	CR-CC02-12006
1.2	製品名称(日本語)	屋外用ACQ処理木材
	製品名称(英語)	ACQ treated woods for outdoors
1.3	製品型式	屋外仕様用加圧注入処理木材
1.4	製品の主要仕様・諸元	薬剤吸収量5.2kg/m ³ (樹種がスギ材)
1.5	CFP算定単位	製品材積1m ³ あたり

2.1	事業者名(日本語)	株式会社コシイプレザービング
	事業者名(英語)	Koshii Preserving Co.,Ltd.

3. CFP算定結果および表示方法			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	188kg	ライフサイクル全体のCO ₂ 排出量
3.2	内訳(ライフサイクル段階別)		
	原材料調達段階	9.32E+01	kg-CO ₂ e
	生産段階	5.59E+00	kg-CO ₂ e
	流通段階	7.40E+01	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0.00E+00	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	1.53E+01	kg-CO ₂ e
3.3	CFPマークへの表示方法		
	マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容>	<表示方法の種別>
		材積1m ³ あたり188kg	単位量あたりCO ₂ 排出量
	追加情報表示部 の記載内容		
3.4	備考		

4. 算定条件		
4.1	認定PCRの名称	木材・木質材料
4.2	認定PCRの番号	PA-CC-02
4.3	共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度試行事業用CO ₂ 換算量共通原単位データベース(暫定版)ver.3
4.4	参考データ適用日	平成24年4月3日

(※) 共通原単位データベースおよび参考データについては、Webサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

3. 木質繊維断熱材(成型板)CFP の算定と申請〔CR-CC02-12007〕

【申請事業者】

株式会社木の繊維, 〒065-0018 札幌市東区北 18 条東 1 丁目 3-3

【対象製品】

ウッドファイバーLD

【対象期間】

2011 年 8 月～2012 年 7 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 24 年 11 月 27 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(12 月 7 日)。

③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(12 月 12 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

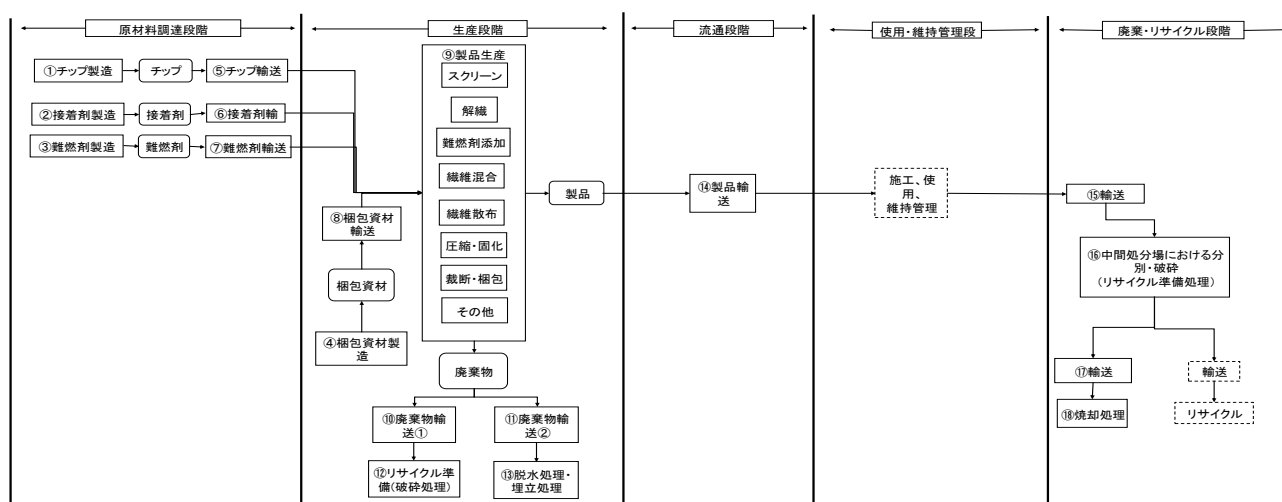


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000629/CR-CC02-12007.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-12007	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	ウッドファイバーLD	
	製品名称（英語）	WOOD FIBER LD	
1.3	製品型式	WF-L40-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	密度 厚さ 長さ 枚数/1梱包 熱伝導率	
		WF-L40-40-1,240 8 0.040以下	
		WF-L40-50-1,240 6 0.040以下	
		WF-L40-89-1,240 3 0.040以下	
		WF-L40-100-1,240 3 0.040以下	
		WF-L40-120-1,240 2 0.040以下	
WF-L40-138-1,240 2 0.040以下			
1.5	CFP算定単位	m ³ （立方メートル）	
1.6	公開日	2012年12月12日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 木の繊維	
	事業者名（英語）	WOOD FIBER CO., LTD.	
2.2	電話番号	011-702-3300	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容				
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	73	kg-CO ₂ e	
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）			
	原材料調達段階	15	kg-CO ₂ e	
	生産段階	56	kg-CO ₂ e	
	流通段階	0.92	kg-CO ₂ e	
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e	
	廃棄・リサイクル段階	1.1	kg-CO ₂ e	
3.3	数値表示、追加情報の内容			
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>	
		73 kg	1 m ³ （立方メートル）あたり	
	追加情報の記載内容			
3.4	備考			
4. CFP算定結果の解釈				
4.1	CFP算定結果の解釈	生産段階における温室効果ガス排出量が最も多くなりました。特に、その他の工程に起因するものが大部分でした。また、主原料として林地残材を用いているため、原材料調達段階の主な温室効果ガス排出の要因は接着剤や難燃剤に起因するものでした。ただし、原料使用量は当社データを利用していますが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください		
5. 算定条件				
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5.2	認定CFP-PCR番号
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.0を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）ver.1.0およびIDEA ver.1.1で補完した		
6. 検証情報				
6.1	検証方式	個別別検証方式	6.2	システム認証番号
6.3	検証番号	CV-CC02-12007	6.4	検証有効期限

4. 樹脂含浸単板積層木材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-12008〕

【申請事業者】

越井木材工業株式会社、〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158

【対象製品】

マクセラム PL

【対象期間】

2010 年 5 月～2011 年 4 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 24 年 11 月 30 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(12 月 7 日)。

③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(12 月 13 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

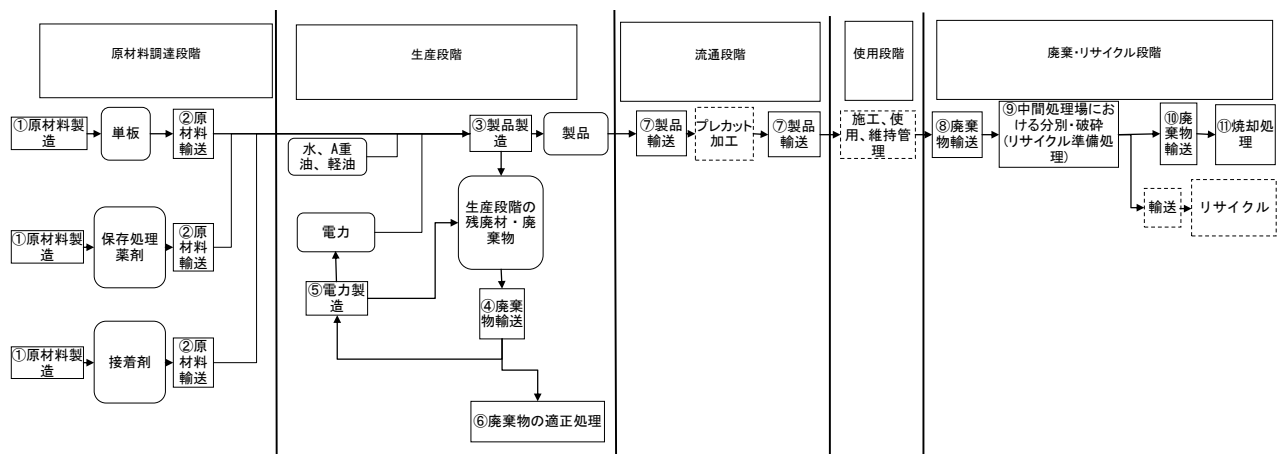


図 当該製品の製品フロー

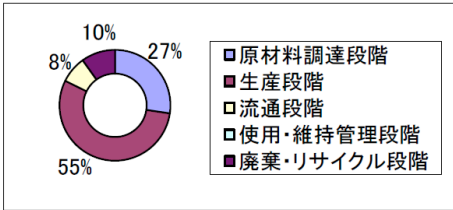
【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000660/CR-CC02-12008.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-12008	1.7 製品写真
1.2	製品名称（日本語）	マクセラムPL	
	製品名称（英語）	MAXELUM PL	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	標準仕様 サイズ：21mm×143mm×1800mm 材積：0.0054m ³ 特徴：フェノール樹脂を含浸させた単板積層木材 用途：木製デッキの床材材料	
1.5	CFP算定単位	標準仕様1枚	
1.6	公開日	2012年12月13日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名（日本語）	越井木材工業株式会社
	事業者名（英語）	KOSHI&CO.,LTD.
2.2	電話番号	06-6685-2061

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	8.0	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	2.2	kg-CO ₂ e
	生産段階	4.4	kg-CO ₂ e
	流通段階	0.63	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	0.80	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		8.0kg	1枚あたり
	追加情報の記載内容	 3.8kgのCO₂を吸収しています(貯蔵炭素量1.0 kg) 1年あたりの温室効果ガス排出量は0.80kg-CO₂e(=8.0kg÷寿命10年) m²あたりの温室効果ガス排出量は31kg-CO₂e(3.4備考欄参照)	
3.4	備考	貯蔵炭素量の計算は製品中の木材の全乾重量を2.07 kgとしてPCRの付属書Fに従って求めました。 単位面積m ² あたりの温室効果ガス排出量は8kg÷0.2574m ² (製品面積)＝31kgとして求めました。	

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	○生産段階における温室効果ガス排出量が最も大きくなりました。生産段階においては購入電力によるものが大部分であり、バイオマス自家発電の割合を大きくしていくことで温室効果ガス排出量削減が期待できます。 ○次いで原材料調達段階の温室効果ガス排出量が大きいですが、これは主にフェノール製造に関わるものに起因しているため、フェノールの環境負荷を低くできれば、さらに温室効果ガス排出量を削減できます。 ○使用・維持管理段階については、温室効果ガスは発生しないため数値はゼロとなっています。 ○流通段階での輸送距離及び廃棄・リサイクル段階での廃棄物輸送距離等の一部データについてPCRのシナリオの値を利用しています。そのためこの結果は概算値としてご理解下さい。

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5	認定CFP-PCR番号	PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して使用し、利用可能データver.1.03及びインベントリデータベースIDEAver.1.2.0で補完した。			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-CC02-12008	6	検証有効期限	2015年12月6日

5. 防腐防蟻処理構造用合板(2 種・BAAC)CFP の算定と申請〔CR-CC02-12009〕

【申請事業者】

越井木材工業株式会社, 〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158

【対象製品】

コシイ防腐防蟻処理構造用合板(2 種・BAAC)

【対象期間】

2010 年 5 月～2011 年 4 月

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 24 年 11 月 30 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(12 月 7 日)。
- ③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(12 月 13 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

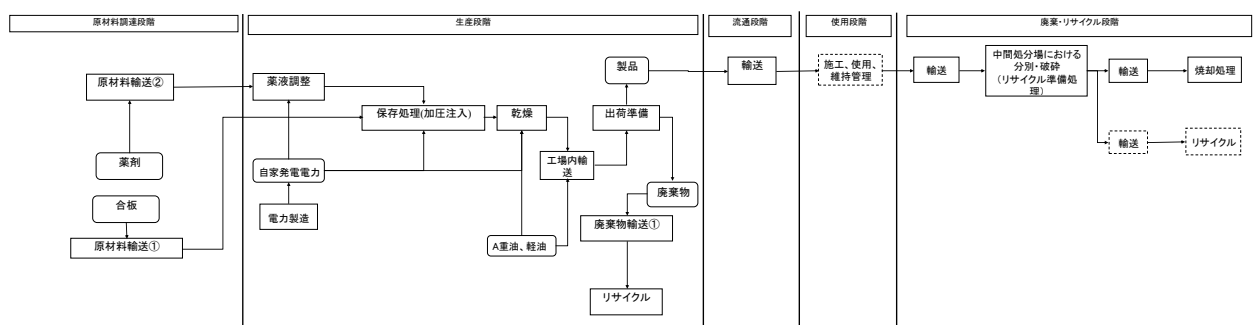


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000661/CR-CC02-12009.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-12009	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	コシイ防腐防蟻処理構造用合板(2種・BAAC)	
	製品名称（英語）	Preservative treated structural plywood(BAAC)	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	仕様：寸法9×910×2430又は2730、3030mm 寸法9×1000×2430又は2730、3030mm、 寸法12×910×2430又は2730、3030mm 寸法12×1000×2430又は2730、3030mm 用途：木造住宅向け外壁耐力壁（優良木質建材AQ認証品(D-2(2種-BAAC)))	
1.5	CFP算定単位	1m ³ あたり	
1.6	公開日	2012年12月13日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	越井木材工業株式会社	
	事業者名（英語）	KOSHII&CO.,LTD.	
2.2	電話番号	06-6685-2061	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	440	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	280	kg-CO ₂ e
	生産段階	80	kg-CO ₂ e
	流通段階	69	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	8.7	kg-CO ₂ e

数値表示、追加情報の内容																																																																			
	数値表示	<記載内容> 440kg <数値表示の単位> 1m³あたり																																																																	
	追加情報の記載内容	16% 2% 18% 64% ■原材料調達段階 ■生産段階 ■流通段階 ■使用・維持管理段階 ■廃棄・リサイクル段階 733kgのCO₂を吸収しています（貯蔵炭素量200 kg） 1年あたりの温室効果ガス排出量は15kg-CO₂e(=440kg÷寿命30年) 1枚あたりの温室効果ガス排出量はAkg-CO₂e(3.4備考欄参照)																																																																	
3.4	備考	貯蔵炭素量の計算は製品中の木材の全乾重量を400kg/m³としてPCRの付属書Fに従って求めました。 3.3のAに代入する、製品1枚あたりの温室効果ガス排出量は以下の通りです。 <table><tr><th>厚さ(mm)</th><th>幅(mm)</th><th>長さ(mm)</th><th>材積(m³)</th><th>1枚あたり温室効果ガス排出量</th></tr><tr><td>9</td><td>910</td><td>2430</td><td>0.0199</td><td>9 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>910</td><td>2730</td><td>0.0224</td><td>10 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>910</td><td>3030</td><td>0.0248</td><td>11 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>1000</td><td>2430</td><td>0.0219</td><td>10 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>1000</td><td>2730</td><td>0.0246</td><td>11 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>1000</td><td>3030</td><td>0.0273</td><td>12 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>910</td><td>2430</td><td>0.0265</td><td>12 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>910</td><td>2730</td><td>0.0298</td><td>13 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>910</td><td>3030</td><td>0.0331</td><td>15 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>1000</td><td>2430</td><td>0.0292</td><td>13 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>1000</td><td>2730</td><td>0.0328</td><td>14 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>1000</td><td>3030</td><td>0.0364</td><td>16 kg-CO₂e</td></tr></table>	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	材積(m ³)	1枚あたり温室効果ガス排出量	9	910	2430	0.0199	9 kg-CO ₂ e	9	910	2730	0.0224	10 kg-CO ₂ e	9	910	3030	0.0248	11 kg-CO ₂ e	9	1000	2430	0.0219	10 kg-CO ₂ e	9	1000	2730	0.0246	11 kg-CO ₂ e	9	1000	3030	0.0273	12 kg-CO ₂ e	12	910	2430	0.0265	12 kg-CO ₂ e	12	910	2730	0.0298	13 kg-CO ₂ e	12	910	3030	0.0331	15 kg-CO ₂ e	12	1000	2430	0.0292	13 kg-CO ₂ e	12	1000	2730	0.0328	14 kg-CO ₂ e	12	1000	3030	0.0364	16 kg-CO ₂ e
厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	材積(m ³)	1枚あたり温室効果ガス排出量																																																															
9	910	2430	0.0199	9 kg-CO ₂ e																																																															
9	910	2730	0.0224	10 kg-CO ₂ e																																																															
9	910	3030	0.0248	11 kg-CO ₂ e																																																															
9	1000	2430	0.0219	10 kg-CO ₂ e																																																															
9	1000	2730	0.0246	11 kg-CO ₂ e																																																															
9	1000	3030	0.0273	12 kg-CO ₂ e																																																															
12	910	2430	0.0265	12 kg-CO ₂ e																																																															
12	910	2730	0.0298	13 kg-CO ₂ e																																																															
12	910	3030	0.0331	15 kg-CO ₂ e																																																															
12	1000	2430	0.0292	13 kg-CO ₂ e																																																															
12	1000	2730	0.0328	14 kg-CO ₂ e																																																															
12	1000	3030	0.0364	16 kg-CO ₂ e																																																															

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	原材料調達段階のGHG排出量をもっとも大きくなり、およそ64%となりました。 生産段階のGHG排出量は18%ですが、その殆どが乾燥による工程が大きくなりました。 使用・維持管理段階については、温室効果ガスは発生しないため数値はゼロとなっています。 流通段階での輸送距離及び廃棄・リサイクル段階での廃棄物輸送距離等の一部データについてPCRのシナリオの値を利用しています。そのためこの結果は概算値としてご理解下さい。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	・基本データベース Ver1.01を優先して利用しつつ、利用可能データベース Ver1.03及び「木材利用による環境貢献度の定量的評価手法の構築 平成22年3月(非公開)」、IPCC第二次報告書のGWP100年値で補完した	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2 システム認証番号 -
6.3	検証番号	CV-CC02-12009	6.4 検証有効期限 2015年12月6日

6. 防腐防蟻処理構造用合板(2 種・ACQ)CFP の算定と申請〔CR-CC02-12010〕

【申請事業者】

越井木材工業株式会社, 〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158

【対象製品】

コシイ防腐防蟻処理構造用合板(2 種・ACQ)

【対象期間】

2010 年 5 月～2011 年 4 月

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 24 年 11 月 30 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(12 月 7 日)。
- ③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(12 月 13 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

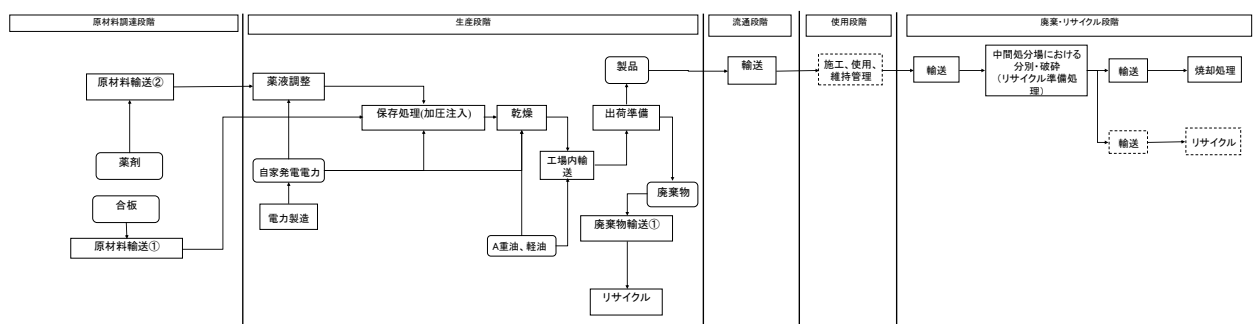


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000662/CR-CC02-12010.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-12010	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	コシイ防腐防蟻処理構造用合板(2種・ACQ)	
	製品名称（英語）	Preservative treated structural plywood(ACQ)	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	仕様：寸法9×910×2430又は2730、3030mm 寸法9×1000×2430又は2730、3030mm、 寸法12×910×2430又は2730、3030mm 寸法12×1000×2430又は2730、3030mm 用途：木造住宅向け外壁耐力壁（優良木質建材AQ認証品(D-2)(2種・ACQ)）	
1.5	CFP算定単位	1m ³ あたり	
1.6	公開日	2012年12月13日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	越井木材工業株式会社	
	事業者名（英語）	KOSHII&CO.,LTD.	
2.2	電話番号	06-6685-2061	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	430	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	270	kg-CO ₂ e
	生産段階	80	kg-CO ₂ e
	流通段階	69	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	8.5	kg-CO ₂ e

数値表示、追加情報の内容																																																																			
数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>																																																																	
	430kg	1m ³ あたり																																																																	
3.3	追加情報の記載内容	<table><tr><td>■ 原材料調達段階</td></tr><tr><td>■ 生産段階</td></tr><tr><td>■ 流通段階</td></tr><tr><td>■ 使用・維持管理段階</td></tr><tr><td>■ 廃棄・リサイクル段階</td></tr></table> 733kgのCO₂を吸収しています（貯蔵炭素量200 kg） 1年あたりの温室効果ガス排出量は14kg-CO₂e(=430kg÷寿命30年) 1枚あたりの温室効果ガス排出量はAkg-CO₂e(3.4備考参照)	■ 原材料調達段階	■ 生産段階	■ 流通段階	■ 使用・維持管理段階	■ 廃棄・リサイクル段階																																																												
■ 原材料調達段階																																																																			
■ 生産段階																																																																			
■ 流通段階																																																																			
■ 使用・維持管理段階																																																																			
■ 廃棄・リサイクル段階																																																																			
3.4	備考	貯蔵炭素量の計算は製品中の木材の全乾重量を400kg/m³としてPCRの付属書Fに従って求めました。 3.3のAに代入する、製品1枚あたりの温室効果ガス排出量は以下の通りです。 <table><tr><th>厚さ(mm)</th><th>幅(mm)</th><th>長さ(mm)</th><th>材積(m³)</th><th>1枚あたり温室効果ガス排出量</th></tr><tr><td>9</td><td>910</td><td>2430</td><td>0.0199</td><td>9 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>910</td><td>2730</td><td>0.0224</td><td>10 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>910</td><td>3030</td><td>0.0248</td><td>11 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>1000</td><td>2430</td><td>0.0219</td><td>9 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>1000</td><td>2730</td><td>0.0246</td><td>11 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>9</td><td>1000</td><td>3030</td><td>0.0273</td><td>12 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>910</td><td>2430</td><td>0.0265</td><td>11 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>910</td><td>2730</td><td>0.0298</td><td>13 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>910</td><td>3030</td><td>0.0331</td><td>14 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>1000</td><td>2430</td><td>0.0292</td><td>13 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>1000</td><td>2730</td><td>0.0328</td><td>14 kg-CO₂e</td></tr><tr><td>12</td><td>1000</td><td>3030</td><td>0.0364</td><td>16 kg-CO₂e</td></tr></table>	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	材積(m ³)	1枚あたり温室効果ガス排出量	9	910	2430	0.0199	9 kg-CO ₂ e	9	910	2730	0.0224	10 kg-CO ₂ e	9	910	3030	0.0248	11 kg-CO ₂ e	9	1000	2430	0.0219	9 kg-CO ₂ e	9	1000	2730	0.0246	11 kg-CO ₂ e	9	1000	3030	0.0273	12 kg-CO ₂ e	12	910	2430	0.0265	11 kg-CO ₂ e	12	910	2730	0.0298	13 kg-CO ₂ e	12	910	3030	0.0331	14 kg-CO ₂ e	12	1000	2430	0.0292	13 kg-CO ₂ e	12	1000	2730	0.0328	14 kg-CO ₂ e	12	1000	3030	0.0364	16 kg-CO ₂ e
厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	材積(m ³)	1枚あたり温室効果ガス排出量																																																															
9	910	2430	0.0199	9 kg-CO ₂ e																																																															
9	910	2730	0.0224	10 kg-CO ₂ e																																																															
9	910	3030	0.0248	11 kg-CO ₂ e																																																															
9	1000	2430	0.0219	9 kg-CO ₂ e																																																															
9	1000	2730	0.0246	11 kg-CO ₂ e																																																															
9	1000	3030	0.0273	12 kg-CO ₂ e																																																															
12	910	2430	0.0265	11 kg-CO ₂ e																																																															
12	910	2730	0.0298	13 kg-CO ₂ e																																																															
12	910	3030	0.0331	14 kg-CO ₂ e																																																															
12	1000	2430	0.0292	13 kg-CO ₂ e																																																															
12	1000	2730	0.0328	14 kg-CO ₂ e																																																															
12	1000	3030	0.0364	16 kg-CO ₂ e																																																															

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	原材料調達段階のGHG排出量がもっとも大きくなり、およそ63%となりました。生産段階のGHG排出量は19%ですが、その殆どが乾燥による工程が大きくなりました。使用・維持管理段階については、温室効果ガスは発生しないため数値はゼロとなっています。流通段階での輸送距離及び廃棄・リサイクル段階での廃棄物輸送距離等の一部データについてPCRのシナリオの値を利用しています。そのためこの結果は概算値としてご理解下さい。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	・基本データベース Ver1.01を優先して利用しつつ、利用可能データベース Ver1.03及び「木材利用による環境貢献度の定量的評価手法の構築 平成22年3月(非公開)」、IPCC第二次報告書のGWP100年値で補完した	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2 システム認証番号 -
6.3	検証番号	CV-CC02-12010	6.4 検証有効期限 2015年12月6日

7. 乾燥造作材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13001〕

【申請事業者】

株式会社ハルキ、〒049-2300 茅部郡森町字姫川 11-13

【対象製品】

道南杉 ハル壁

【対象期間】

2011 年 4 月～2012 年 3 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 24 年 12 月 18 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(1 月 22 日)。

③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 1 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

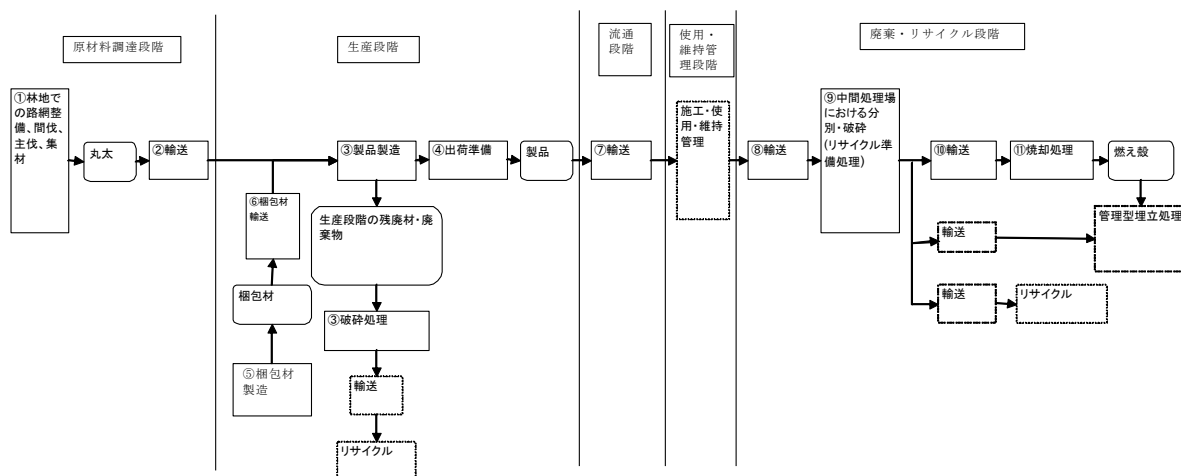


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000685/CR-CC02-13001.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-13001	1.7 製品写真
1.2	製品名称（日本語）	道南杉 ハル壁	
	製品名称（英語）	dounansugi harukabe	
1.3	製品型式	道南杉 ハル壁	
1.4	製品の主要仕様・諸元	日本農林規格（JAS）で規定されている「製材」のうち以下のものを対象とした。 ・外装材 サイズ 厚み15mm×幅135～150mm×長さ3,650mm ・内装材 サイズ 厚み10～15mm×幅88～150mm×長さ100～3,650mm ・モールディング サイズ 厚み9～30mm×幅14.5～70mm×長さ3,650mm ・デッキ材 サイズ 厚み38～89mm×幅89～235mm×長さ3,650mm	
1.5	CFP算定単位	単位材積(m ³)	
1.6	公開日	2013年3月1日	



2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	株式会社ハルキ	
事業者名（英語）	HARUKI Co., Ltd.		
2.2	電話番号	01374-2-5057	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	220	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	83	kg-CO ₂ e
	生産段階	110	kg-CO ₂ e
	流通段階	26	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	-	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	6.8	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		220 kg	材積1 m ³ あたり
3.3	追加情報の記載内容		
3.4	備考		

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	温室効果ガス排出量は、生産段階に起因するものが最も多くなり、原材料調達段階に起因するものが次に多くなりました。 生産段階においては、乾燥工程における灯油の消費に起因するものが大部分でした。また、原材料調達段階においては、スギの生産に起因するものが大部分でした。 ただし、燃料や原料の使用量は当社データを利用していますが、それらの製造時のデータは一般的な値を利用しているため、製品固有の特徴を反映していない場合があります。 また、流通段階の温室効果ガスに関しては、代表的な流通経路を算定条件として使用しています。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5	認定CFP-PCR番号	PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver1.01を利用した。			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-CC02-13001	6	検証有効期限	2016年1月21日

7	備考	-
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

8. 木質繊維断熱材(吹込用)CFP の算定と申請〔CR-DI01-13001〕

【申請事業者】

株式会社木の繊維，〒065-0018 札幌市東区北 18 条東 1 丁目 3-3

【対象製品】

ウッドファイバークローイング

【対象期間】

2012 年 8 月 30 日～2012 年 9 月 7 日(一部 2011 年 8 月～2012 年 7 月)

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 2 月 7 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 5 日)。

③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 11 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

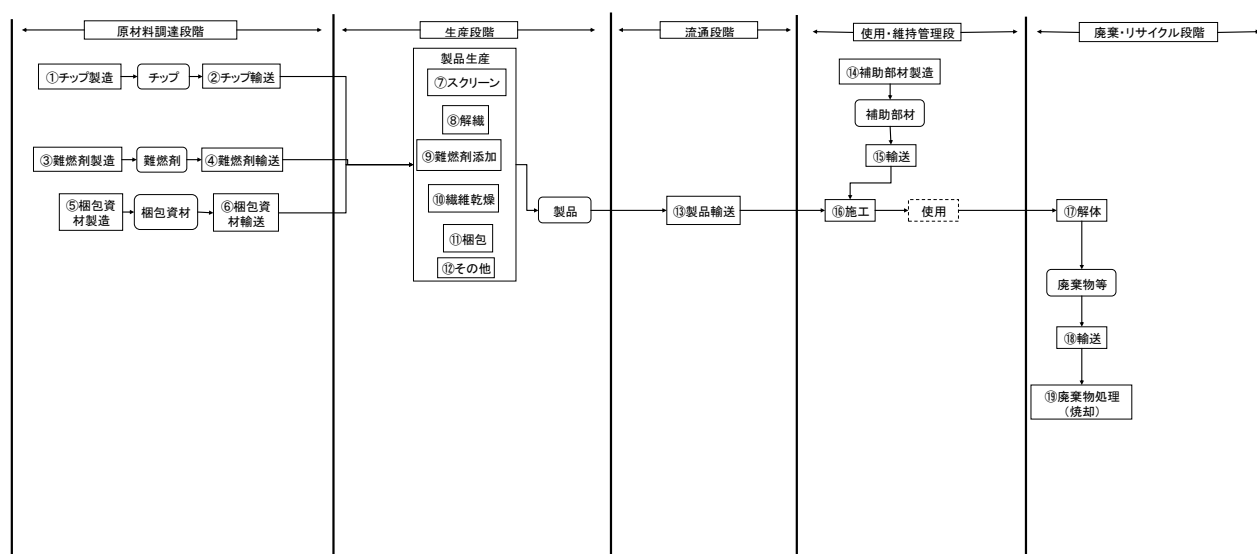


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000687/CR-DI01-13001.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-D101-13001	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	ウッドファイバードローイング	
	製品名称（英語）	WOOD FIBER BLOWING	
1.3	製品型式	WF-BL	
1.4	製品の主要仕様・諸元	天井用吹込み断熱材 熱伝導率=0.043W/(m・k) 施工標準密度=28±2kg/m ³ （立方メートル） 難燃3級 5kg/袋	
1.5	CFP算定単位	1袋あたり	
1.6	公開日	2013年3月11日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 木の繊維	
	事業者名（英語）	WOOD FIBER CO., LTD.	
2.2	電話番号	011-702-3300	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	9.8	kg-CO ₂ e
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）		
	原材料調達段階	2.6	kg-CO ₂ e
	生産段階	5.1	kg-CO ₂ e
	流通段階	0.19	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	1.4	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	0.43	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		9.8 kg	1袋(5kg)あたり
3.3	追加情報の記載内容	吹込み用木質繊維断熱材（日本工業規格外品）の CFP-PCRに基づき算定	
		■原材料調達段階 ■生産段階 ■流通段階 ■使用・維持管理段階 ■廃棄・リサイクル段階	
3.4	備考		

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	GHG排出量は生産段階が最も大きく次いで原材料調達段階が大きくなりました。生産段階のGHG排出量が大きくなった原因は、製品製造における電力や蒸気などのエネルギーを多く消費するためだと考えられます。原材料調達段階では、主に化学物質である難燃剤の製造による排出が多いと考えられます。さらにGHG排出量を低減するためには、生産量の拡大、生産ラインの効率化等が挙げられます。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	吹込み用木質繊維断熱材	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-D I -0 1
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）ver.1.03およびIDEAver.1.1で補完した	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2 システム認証番号 -
6.3	検証番号	CV-D I 0 1 -1 3 0 0 1	6.4 検証有効期限 2016年3月3日

7	備考	-
---	----	---

（※） 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

9. 未乾燥製材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13002〕

【申請事業者】

株式会社サトウ，〒080-2465 帯広市西 25 条北 1 丁目 1 番 3 号

【対象製品】

カラマツ製材

【対象期間】

2011 年 9 月～2012 年 8 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 2 月 27 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 4 日)。

③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 15 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

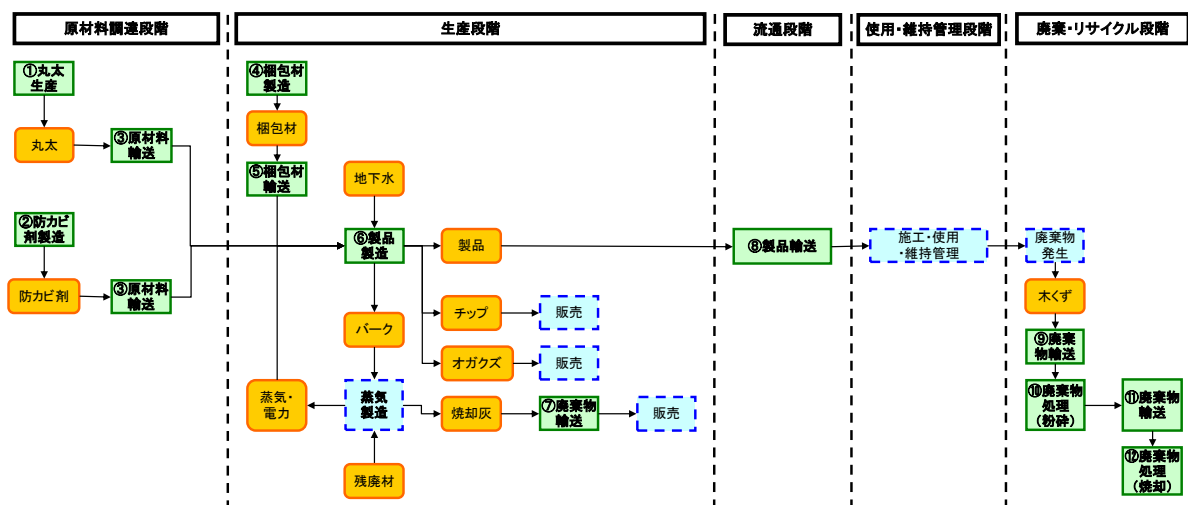


図 当該製品の製品フロー

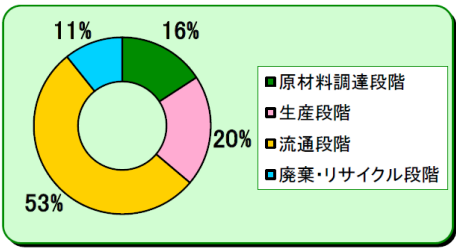
【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000689/CR-CC02-13002.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-13002	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	から松の株式会社 サトウ カラマツ製材	
	製品名称（英語）	Larch Green lumber	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	寸法：主に1100×150×22 mm 1100×120×22 mm 1100×100×50 mm 用途：主に木製パレットの材料となる。 製造工程：人工乾燥未処理の製材。	
1.5	CFP算定単位	1 m ³ あたり	
1.6	公開日	(申請時には記入不要です)	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 サトウ
	事業者名（英語）	Satou.Co.Ltd
2.2	電話番号	0155-37-4141

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	88	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	14	kg-CO ₂ e
	生産段階	18	kg-CO ₂ e
	流通段階	47	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	9.5	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		88 kg	材積 1 m ³ あたり
3.3	追加情報の記載内容	 230 kgの炭素を貯蔵しています(CO₂換算で845 kg) 1年あたりの温室効果ガス排出量は14.7 kg-CO₂e (=88 kg÷製品寿命6年)です	
3.4	備考	世界の有用木材300種編集委員会編：世界の有用木材300種－性質とその用途より、カラマツの気乾(含水率15%)を530 kg/m ³ とし、PCRの付属書Fに従って炭素所蔵量とそのCO ₂ 換算量を求めました。 1年あたりの温室効果ガス排出量は、主な製品の用途である木製パレットの耐用年数を6年として求めました。	

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	●製品輸送に起因する流通段階から排出されるGHGが最も大きな割合を占めた。これは製品のほとんどが関東地方や関西地方へと船舶輸送されており、製造地である帯広からの輸送距離が非常に長いためであると考えられる。また、製品が未乾燥状態で重量が大きいことも製品輸送段階からのGHG排出量が大きくなった原因と考えられる。製品輸送に原材料輸送、廃棄物輸送などを加えた全輸送プロセスからの排出はGHG排出量全体の約2/3を占めており、輸送プロセスからのGHG排出量を抑えることが、製品のライフサイクル全体からのGHG排出量の削減に大きくつながると考えられる。 ●流通段階の次にGHG排出量が大きくなったのは製品製造段階であるが、そのほとんどが公共電力の消費に起因するものであり、製品製造の生産性を向上させることがGHG排出量の削減につながると思われる。 ●当社で収集可能なデータについてはできる限り収集しているため精度は高いと考えられるが、GHG排出原単位データについては一般的なデータを使用しているため、この結果は概算値としてご理解いただきたい。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して使用し、利用可能データIDEAver.1.1で補完した。	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個別別検証方式	6.2 システム認証番号 —
6.3	検証番号	CV-CC02-13002	6.4 検証有効期限 2016年3月3日

7	備考	—
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

10. 乾燥製材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13003〕

【申請事業者】

株式会社サトウ，〒080-2465 帯広市西 25 条北 1 丁目 1 番 3 号

【対象製品】

カラマツ人工乾燥製材

【対象期間】

2011 年 9 月～2012 年 8 月

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 2 月 27 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 4 日)。
- ③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 15 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

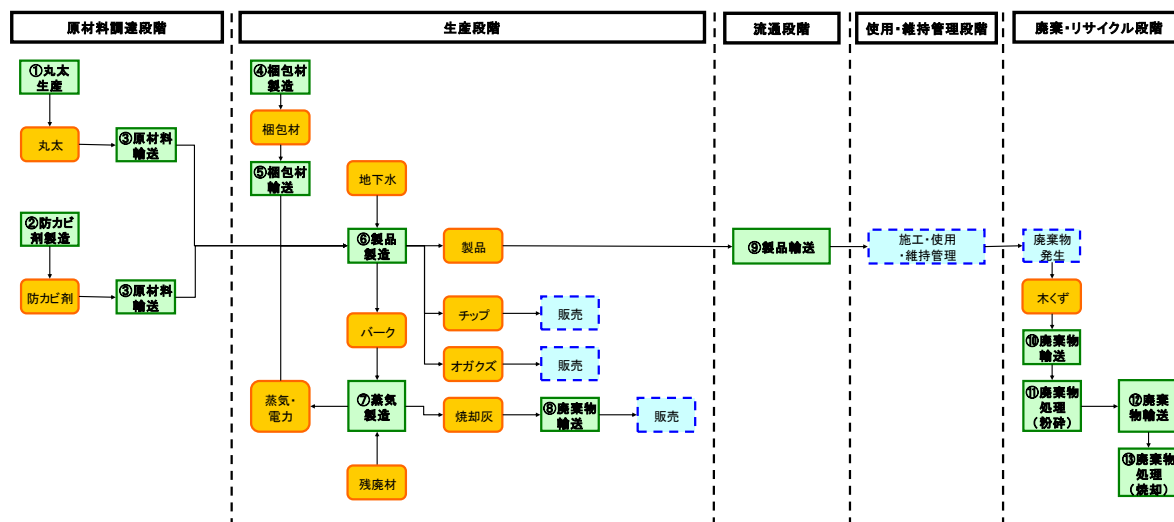


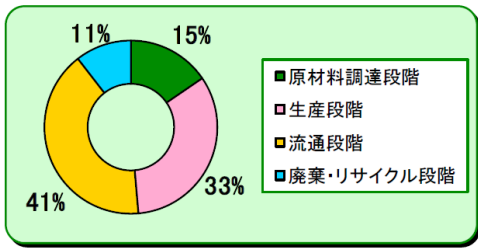
図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000690/CR-CC02-13003.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-13003	1.7 製品写真
1.2	製品名称（日本語）	から松の株式会社 サトウ カラマツ人工乾燥製材	
	製品名称（英語）	Larch kiln-dried lumber	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	寸法：1100×150×22 mm 1100×120×22 mm 1100×100×50 mm 用途：主に木製パレットの材料となる。 製造工程：人工乾燥処理製材。	
1.5	CFP算定単位	1 m ³ あたり	
1.6	公開日	2013年3月15日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 サトウ	
	事業者名（英語）	Satou.Co.Ltd	
2.2	電話番号	0155-37-4141	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	91	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	14	kg-CO ₂ e
	生産段階	30	kg-CO ₂ e
	流通段階	37	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	9.5	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		91 kg	材積 1 m ³ あたり
3.4	備考	 230 kgの炭素を貯蔵しています (CO₂換算で845 kg) 1年あたりの温室効果ガス排出量は15.2 kg-CO₂e (=91kg÷製品寿命6年)です。 世界の有用木材300種編集委員会編：世界の有用木材300種一性質とその用途(付属書D：丸太の品質とその生材と気乾密度)より、カラマツの気乾(含水率15%)を530 kg/m³とし、PCRの付属書Fに従って炭素貯蔵量とそのCO₂換算量を求めました。 1年あたりの温室効果ガス排出量は、主な製品の用途である木製パレットの耐用年数を6年として求めました。	

4. CFP算定結果の解釈	
4.1	CFP算定結果の解釈
	●製品輸送に起因する流通段階から排出されるGHGが最も大きな割合を占めた。これは製品のほとんどが関東地方や関西地方へと船舶輸送されており、製造地である帯広からの輸送距離が非常に長いためであると考えられる。また、製品輸送に原材料輸送、廃棄物輸送などを加えた全輸送プロセスからの排出はGHG排出量全体の半分以上を占めており、輸送プロセスからのGHG排出量を抑えることが、製品のライフサイクル全体からのGHG排出量の削減に大きくつながると考えられる。 ●流通段階の次にGHG排出量が大きくなったのは製品製造段階であるが、そのほとんどが公共電力の消費に起因するものであり、製品製造の生産性を向上させることがGHG排出量の削減につながると思われる。また、パークを有効活用したバイオマスボイラーによって、乾燥に必要な熱量の一部を供給しているため、化石燃料を用いたボイラーの使用と比べてGHG排出量の削減に貢献していると考えられる。 ●当社で収集可能なデータについてはできる限り収集しているため精度は高いと考えられるが、GHG排出原単位データについては一般的なデータを使用しているため、この結果は概算値としてご理解いただきたい。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して使用し、利用可能データIDEAver.1.1で補完した。	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2 システム認証番号 —
6.3	検証番号	CV-CC02-13003	6.4 検証有効期限 2016年3月3日

7	備考	—
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

11. 熱処理木材 CFP の算定と申請〔CR-CC02-13004〕

【申請事業者】

越井木材工業株式会社、〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158

【対象製品】

コシイ・スーパーサーモ（スギ）

【対象期間】

2010 年 4 月 21 日～2011 年 4 月 30 日

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 2 月 21 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 8 日)。
- ③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 15 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

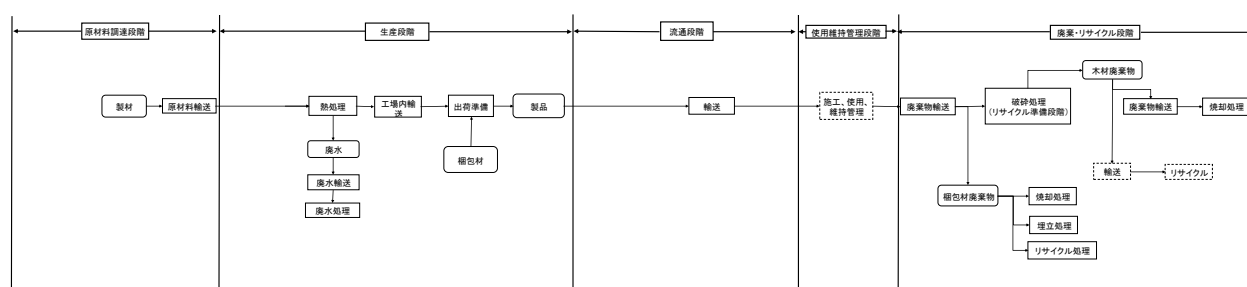


図 当該製品の製品フロー

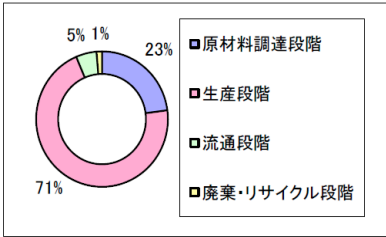
【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000692/CR-CC02-13004.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CC02-13004	1.7 製品写真
1.2	製品名称（日本語）	コシイ・スーパーサーモ(スギ)	
	製品名称（英語）	Koshii super thermo(Japanese cedar)	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	標準仕様サイズ(材積)： 18×120×4000mm(0.0086m³)、 15×120×4000mm(0.0072m³)、 22×140×4000mm(0.0123m³)、 15×85×3000(0.0038m³)、 30×60×3000(0.0054m³)、 30×30×3000(0.0027m³)、 18×60×910(0.0010m³) ※標準仕様サイズ以外で、原材料調達段階～廃棄段階がすべて同様の製品のサイズ違いは同製品とする。 特徴：加熱水蒸気処理を行い、耐候性・寸法安定性を向上させた木材 用途：外装、デッキ、フェンス、内装、家具など	
1.5	CFP算定単位	材積1m ³	
1.6	公開日	2013年3月15日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名（日本語）	越井木材工業株式会社
	事業者名（英語）	KOSHI&CO.,LTD.
2.2	電話番号	06-6685-2061

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	520	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）		
	原材料調達段階	120	kg-CO ₂ e
	生産段階	370	kg-CO ₂ e
	流通段階	27	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	7.0	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		520kg	1m ³ あたり
3.3	追加情報の記載内容	 606kgのCO₂を貯蔵しています（貯蔵炭素量165 kg）	
3.4	備考	貯蔵炭素量の計算は製品1m ³ 中の木材の全乾重量を330.4kgとしてPCRの付属書Fに従って求めました。	

4. CFP算定結果の解釈	
4.1	CFP算定結果の解釈
	○生産段階における温室効果ガス排出量が最も大きくなりました。生産段階においては加熱水蒸気処理の工程で使用するA重油および購入電力によるものが大部分を占めています。温室効果ガス排出量を削減するためには、バイオマス自家発電の割合を増やすことや、その際に発生する廃熱の利用を行うことなどに効果が期待できます。 ○使用・維持管理段階については、本PCRの算定に基づいた温室効果ガスは発生しないため数値はゼロとなっています。 ○流通段階での輸送距離及び廃棄・リサイクル段階での廃棄物輸送距離等の一部データについてPCRのシナリオの値を利用しています。そのためこの結果は概算値としてご理解下さい。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	木材・木質材料	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-CC-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を優先して使用し、利用可能データver.1.03で補完した。	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2 システム認証番号 -
6.3	検証番号	CV-CC02-13004	6.4 検証有効期限 2016年3月7日

7	備考	-
---	----	---

12. 木製パレット(未乾燥製材)CFP の算定と申請〔CR-CD02-13001〕

【申請事業者】

株式会社サトウ, 〒080-2465 帯広市西 25 条北 1 丁目 1 番 3 号

【対象製品】

から松の株式会社サトウ カラマツパレット

【対象期間】

2011 年 9 月～2012 年 8 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 3 月 3 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 11 日)。

③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 21 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

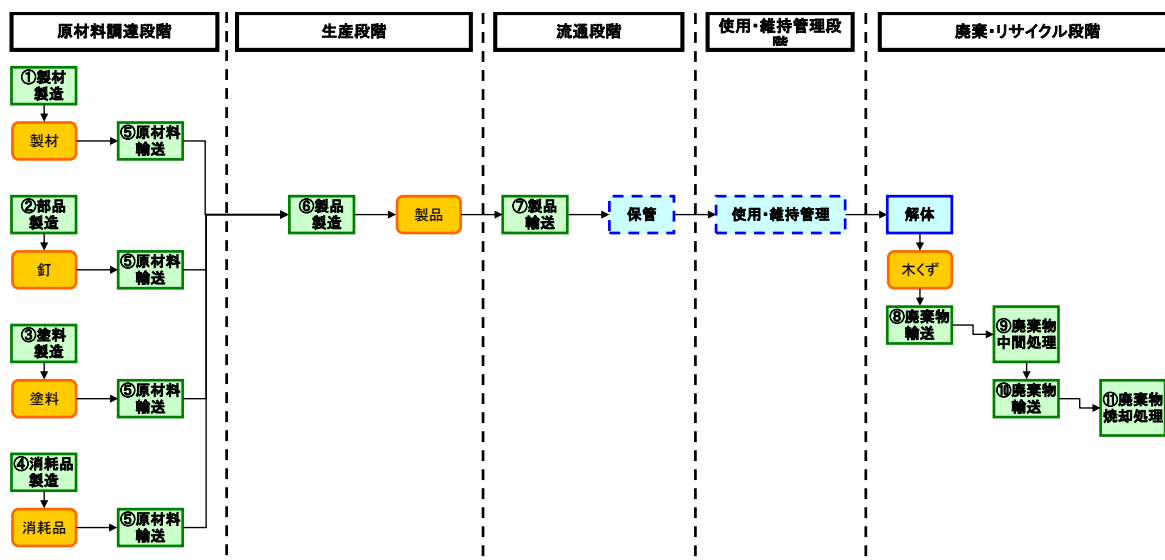


図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000697/CR-CD02-13001.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CD02-13001	1.7 製品写真 
1.2	製品名称（日本語）	から松の株式会社 サトウ カラマツパレット	
	製品名称（英語）	Larch green wood palette	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	最も標準的な製品の仕様を示す。 部材： エッジボード 1100×150×22 mm 4枚 デッキボード 1100×120×22 mm 10枚 桁 1100×100×50 mm 3本 で構成される。 材積：0.06006 m3 製造工程：材料となるカラマツ製材は人工乾燥未処理材を使用。	
1.5	CFP算定単位	標準仕様 1 枚あたり	
1.6	公開日	2013年3月21日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 サトウ	
	事業者名（英語）	Satou.Co.Ltd	
2.2	電話番号	0155-37-4141	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	4.9	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	2.1	kg-CO ₂ e
	生産段階	0.12	kg-CO ₂ e
	流通段階	1.8	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0.0	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	0.83	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		81 kg	1枚あたり
3.3	追加情報の記載内容	パレット1枚あたりのカーボンフットプリントは A kgです。 B kgの炭素を貯蔵しています(CO₂換算でC kg) 1年あたりの温室効果ガス排出量はD kg-CO₂e (=A kg÷製品寿命6年)です。 3.4備考欄 計算式参照	
3.4	備考	<追加情報の内容について> 世界の有用木材300種編集委員会編：世界の有用木材300種一性質とその用途より、カラマツの気乾密度(含水率15%)を530 kg/m³とし、PCRの付属書Gに従って炭素所蔵量とそのCO₂換算量を求めました。 1年あたりの温室効果ガス排出量は、製品の耐用年数を6年として求めました。 A=81.1×(当該パレット1枚あたりの材積) B=27.7×(当該パレット1枚あたりの材積) C=101×(当該パレット1枚あたりの材積) D=A÷6 材料として用いている「カラマツ製材」の温室効果ガス排出量については、CFP登録公開済みの「CR-CC02-13002」を用いた。	

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	●材料となるカラマツ製材の製造に起因する原材料調達段階からのGHGが最も大きな割合を占め、次に製品輸送に起因する流通段階からのGHG排出量が大きくなった。製品輸送の排出に関しては、製品の出荷先が全て北海道内であり、そのうち半数近くが工場のある十勝圏内であったため、比較的小さかった。 ●製材の製造を原材料調達段階に計上し、パレットの組立作業だけを生産段階に計上したため、生産段階のGHG排出割合が小さくなった。 ●当社で収集可能なデータについてはできる限り収集しているため精度は高いと考えられるが、GHG排出原単位データについては一般的なデータを使用しているため、この結果は概算値としてご理解いただきたい。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	木製製品	5 認定CFP-PCR番号 PA-CD-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を利用した。	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6 システム認証番号 -
6.3	検証番号	CV-CD02-13001	6 検証有効期限 2016年3月10日

7	備考	-
---	----	---

13. 木製パレット(乾燥製材)CFP の算定と申請〔CR-CD02-13002〕

【申請事業者】

株式会社サトウ, 〒080-2465 帯広市西 25 条北 1 丁目 1 番 3 号

【対象製品】

から松の株式会社サトウ カラマツパレット(乾燥製材使用)

【対象期間】

2011 年 9 月～2012 年 8 月

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 3 月 3 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 11 日)。
- ③ その後 CFP ウェブサイトにおいて情報登録・公開された(3 月 21 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

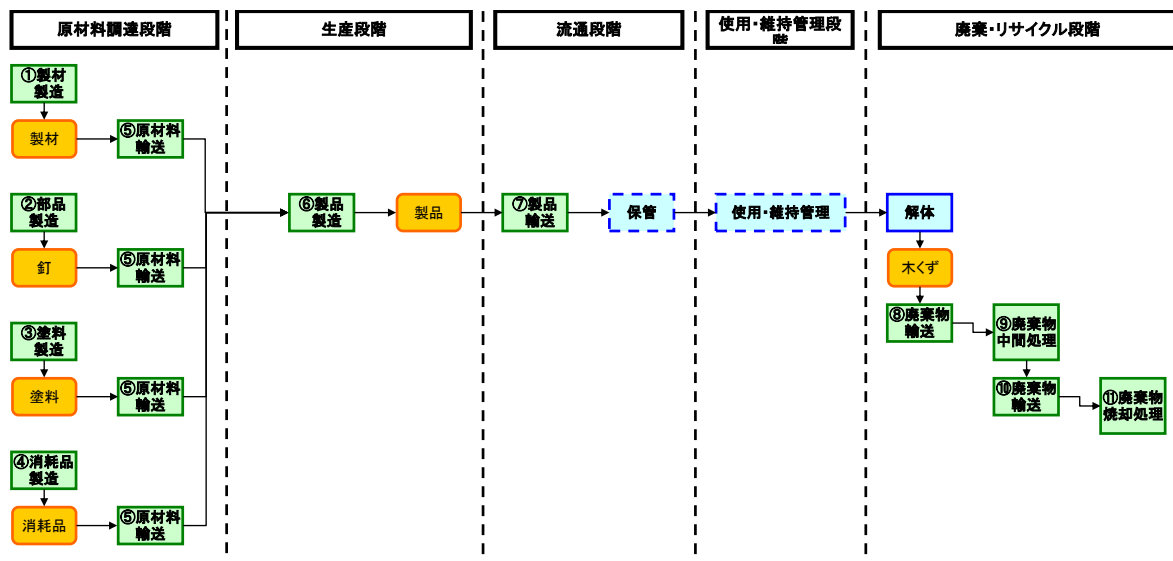


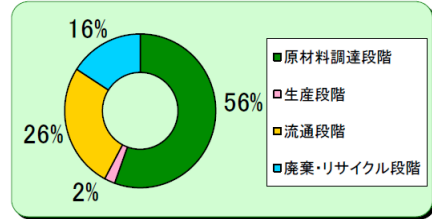
図 当該製品の製品フロー

【CFP 宣言認定登録情報】

登録情報は下記の通りである。

URL : http://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/000698/CR-CD02-13002.pdf

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CD02-13002	1.7 製品写真
1.2	製品名称（日本語）	から松の株式会社 サトウ カラマツパレット（乾燥製材使用）	
	製品名称（英語）	Larch kiln-dried wood palette	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	最も標準的な製品の仕様を示す。 部材： エッジボード 1100×150×22 mm 4枚 デッキボード 1100×120×22 mm 10枚 桁 1100×100×50 mm 3本 で構成される。 材積：0.06006 m³ 製造工程：材料となるカラマツ製材は人工乾燥処理材を使用。	
1.5	CFP算定単位	標準仕様 1 枚あたり	
1.6	公開日	2013年3月21日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	株式会社 サトウ	
	事業者名（英語）	Satou.Co.Ltd	
2.2	電話番号	0155-37-4141	

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容							
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	5.2	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)				
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)						
	原材料調達段階	2.9	kg-CO ₂ e				
	生産段階	0.12	kg-CO ₂ e				
	流通段階	1.4	kg-CO ₂ e				
	使用・維持管理段階	0	kg-CO ₂ e				
	廃棄・リサイクル段階	0.83	kg-CO ₂ e				
3.3	数値表示、追加情報の内容						
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>				
		87 kg	材積1m ³ あたり				
追加情報の記載内容	<table><tr><td>■ 原材料調達段階</td></tr><tr><td>■ 生産段階</td></tr><tr><td>■ 流通段階</td></tr><tr><td>■ 廃棄・リサイクル段階</td></tr></table> パレット1枚あたりのカーボンフットプリントはA kgです。 B kgの炭素を貯蔵しています(CO₂換算でC kg) 1年あたりの温室効果ガス排出量はD kg-CO₂e (=A kg÷製品寿命6年)です。 3.4備考欄計算式参照参照			■ 原材料調達段階	■ 生産段階	■ 流通段階	■ 廃棄・リサイクル段階
■ 原材料調達段階							
■ 生産段階							
■ 流通段階							
■ 廃棄・リサイクル段階							
3.4	備考	<追加情報の内容について> 世界の有用木材300種編集委員会編：世界の有用木材300種一性質とその用途より、カラマツの気乾密度(含水率15%)を530 kg/m³とし、PCRの付属書Gに従って炭素所蔵量とそのCO₂換算量を求めました。 1年あたりの温室効果ガス排出量は、製品の耐用年数を6年として求めました。 A=86.7×(当該パレット1枚あたりの材積) B=27.7×(当該パレット1枚あたりの材積) C=101×(当該パレット1枚あたりの材積) D=A÷6 材料として用いている「カラマツ人工乾燥製材」の温室効果ガス排出量については、CFP登録公開済みの「CR-CC02-13003」を用いた。					
4. CFP算定結果の解釈							
4.1	CFP算定結果の解釈	●材料となるカラマツ製材の製造に起因する原材料調達段階からのGHGが最も大きな割合を占め、次に製品輸送に起因する流通段階からのGHG排出量が大きくなった。製品輸送の排出に関しては、製品の出荷先が全て北海道内であり、そのうち半数近くが工場のある十勝圏内であったため、比較的小さかった。 ●製材の製造を原材料調達段階に計上し、パレットの組立作業だけを生産段階に計上したため、生産段階のGHG排出割合が小さくなった。 ●乾燥製材の生産においては、パークを有効活用したバイオマスボイラーによって、乾燥に必要な熱量の一部を供給しているため、化石燃料を用いたボイラーの使用と比べてGHG排出量の削減に貢献していると考ええる。 ●当社で収集可能なデータについてはできる限り収集しているため精度は高いと考えられるが、GHG排出原単位データについては一般的なデータを使用しているため、この結果は概算値としてご理解いただきたい。					
5. 算定条件							
5.1	認定CFP-PCR名称	木製製品	5	認定CFP-PCR番号			
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01を利用した。					
6. 検証情報							
6.1	検証方式	個品別検証方式	6	システム認証番号			
6.3	検証番号	CV-CD02-13002	6	検証有効期限			
7	備考	—					

14. 中密度繊維板(1)CFP の算定と申請〔CV-CC02-13005〕

【申請事業者】

ホクシン株式会社, 〒596-8521 大阪府岸和田市木材町 17-2

【対象製品】

スターウッド 19.6LMIO

【対象期間】

2011 年 4 月～2012 年 3 月

【登録までの経緯】

① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 3 月 7 日)。

② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 19 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

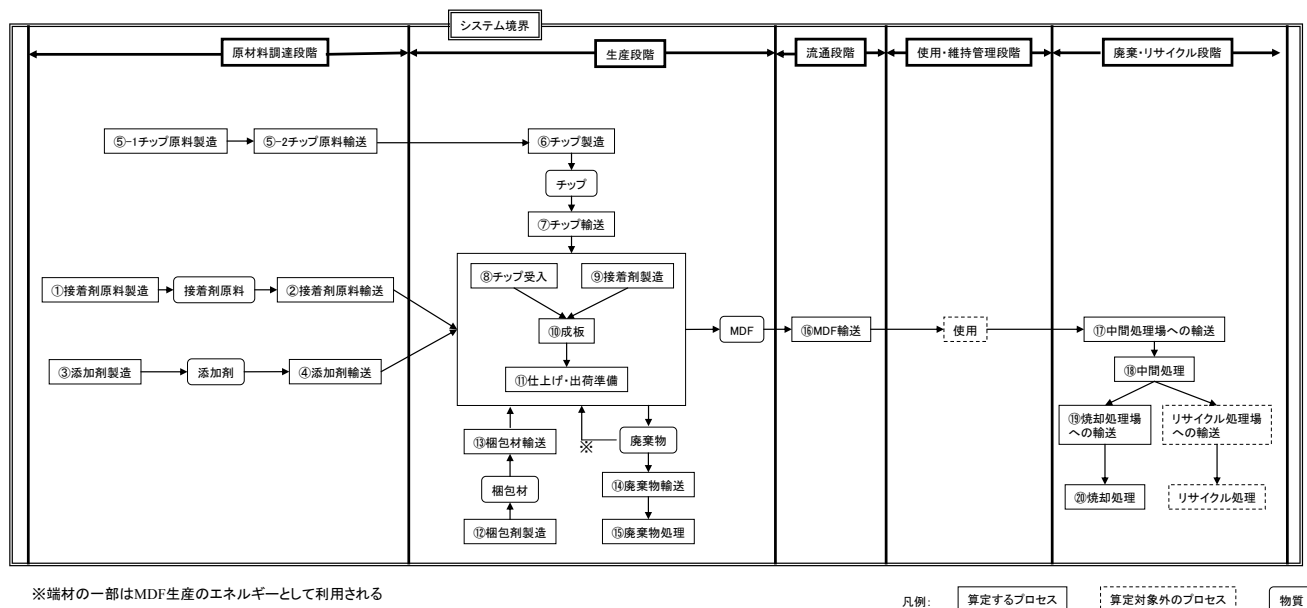


図 当該製品の製品フロー

【製品の主要仕様・諸元】

JISA5905「繊維板」に規定される密度 0.35g/cm^3 以上の「ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)」、厚さ 19.6mm、サイズ 1260mm×4080mm、重量 69kg

【CFP 算定単位】

1 枚当たり 1260mm×4080mm

【CFP 算定結果】

73kg-CO₂e (原材料調達段階 28kg-CO₂e、生産段階 40kg-CO₂e、流通段階 2.7 kg-CO₂e、廃棄・

リサイクル段階 1.9 kg-CO₂e)

(注：端数処理により内訳の合計値と若干異なる場合がある。)

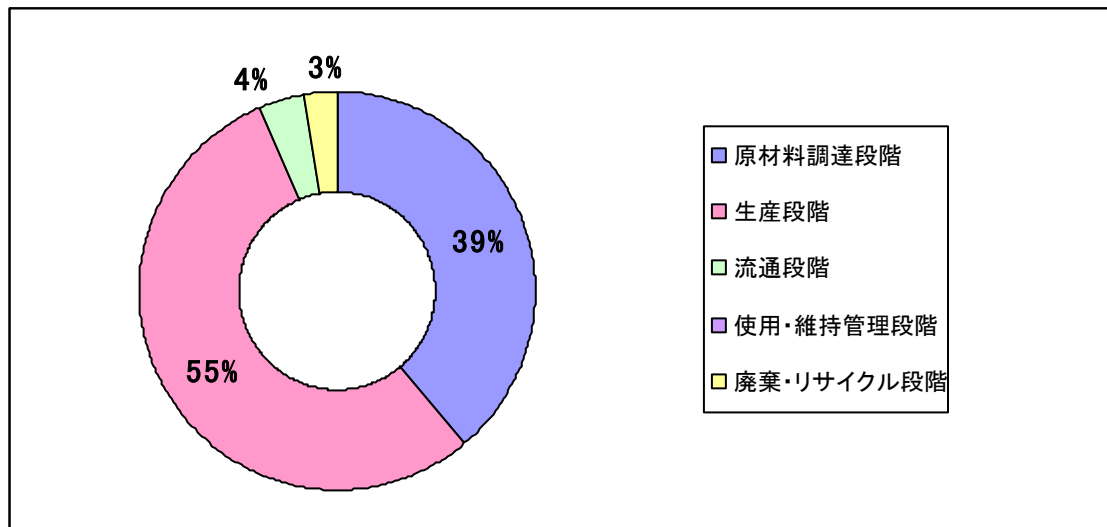


図 当該製品段階別 CFP

【CFP 算定結果の解釈】

- ・ 生産段階における温室効果ガス排出量が全体の 55%と最も多くなった。これは、電力および都市ガスの燃焼に起因するものが大部分であった。
- ・ 原料調達段階における温室効果ガス排出量が 39%と次に多くなった。これは、購入原料である接着剤原料の生産に起因するものが大部分であった。ただし、原料使用量は固有データを利用しているが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合がある。
- ・ また、流通段階での輸送距離及び廃棄・リサイクル段階での廃棄物輸送距離等の一部データについて CFP-PCR のシナリオの値を利用している。
- ・ そのため、この CFP 算定結果は概算値である。
- ・ なお、使用・維持管理段階については、CFP-PCR に基づき算定対象外としている。

【使用した認定 CFP-PCR】

木材・木質材料【第2版】(PA-CC-02)

【利用した二次データの考え方】

基本データベース Ver1.01 (国内データ) を優先して利用しつつ、基本データベース Ver1.0 (海外データ)、利用可能データベース Ver1.03 および IDEA Ver.1.1 で補完した。

15. 中密度繊維板(2)CFP の算定と申請 [CV-CC02-13006]

【申請事業者】

ホクシン株式会社, 〒596-8521 大阪府岸和田市木材町 17-2

【対象製品】

スターウッド TFB 2.7ASTLMI

【対象期間】

2011 年 4 月～2012 年 3 月

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 3 月 7 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 19 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。

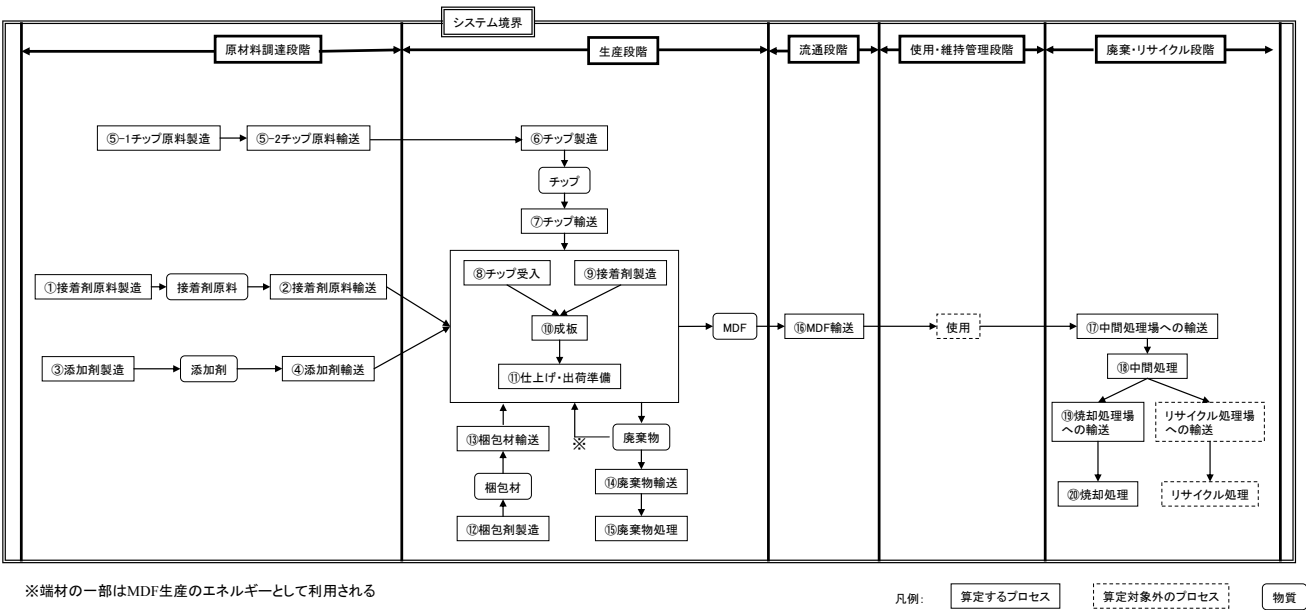


図 当該製品の製品フロー

【製品の主要仕様・諸元】

JIS A 5905 「繊維板」に規定される密度 0.35g/cm³ 以上の「ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)」、厚さ 2.7mm、サイズ 1875mm×4830mm、重量 19.5kg

【CFP 算定単位】

1 枚当たり 1875mm×4830mm

【CFP 算定結果】

23kg-CO₂e (原材料調達段階 11kg-CO₂e、生産段階 10kg-CO₂e、流通段階 0.96kg-CO₂e、廃棄・

リサイクル段階 0.64 kg-CO₂e)

(注：端数処理により内訳の合計値と若干異なる場合がある。)

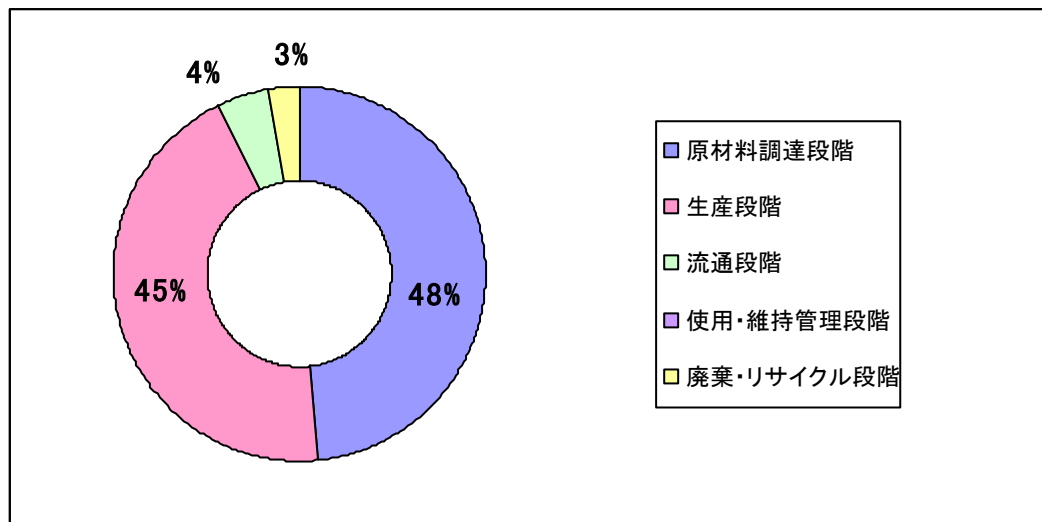


図 当該製品段階別 CFP

【CFP 算定結果の解釈】

- ・ 原料調達段階における温室効果ガス排出量が 48%と最も多くなった。これは、購入原料である接着剤原料の生産に起因するものが大部分であった。ただし、原料使用量は固有データを利用しているが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合がある。
- ・ 生産段階における温室効果ガス排出量が全体の 45%と次に多くなった。これは、電力および都市ガスの燃焼に起因するものが大部分であった。
- ・ また、流通段階での輸送距離及び廃棄・リサイクル段階での廃棄物輸送距離等の一部データについて CFP-PCR のシナリオの値を利用している。
- ・ そのため、この CFP 算定結果は概算値である。
- ・ なお、使用・維持管理段階については、CFP-PCR に基づき算定対象外としている。

【使用した認定 CFP-PCR】

木材・木質材料【第2版】(PA-CC-02)

【利用した二次データの考え方】

基本データベース Ver1.01 (国内データ) を優先して利用しつつ、基本データベース Ver1.0 (海外データ)、利用可能データベース Ver1.03 および IDEA Ver.1.1 で補完した。

16. パーティクルボード CFP の算定と申請 [CV-CC02-13007]

【申請事業者】

日本ノボパン工業株式会社, 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-17

【対象製品】

パーティクルボード novopan

【対象期間】

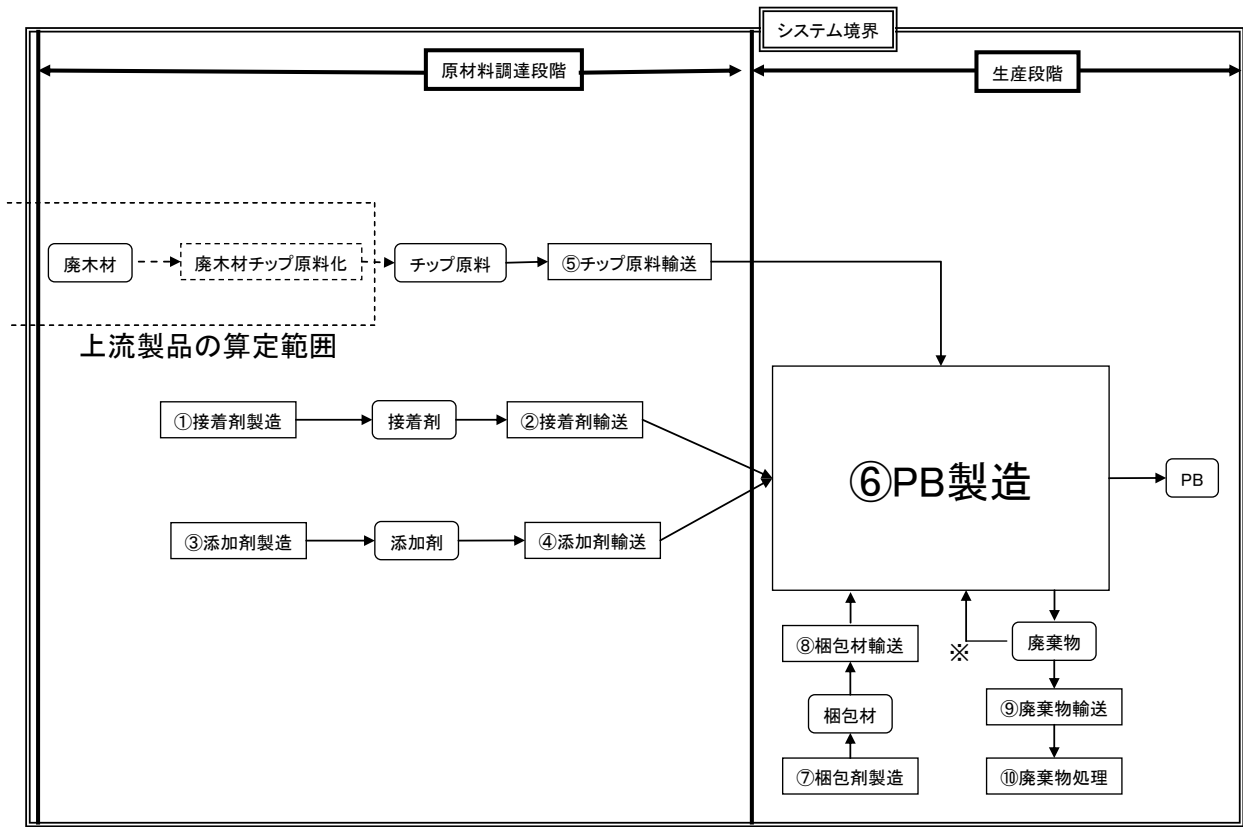
2011 年 4 月～2012 年 3 月

【登録までの経緯】

- ① 提供データを基に、服部研究室において当該製品の CFP 算定が完了し、CFP 検証の申請を行った(平成 25 年 3 月 8 日)。
- ② CFP コミュニケーションプログラム事務局より、レビューパネル審議で合格した旨を通知された(3 月 19 日)。

【製品フロー】

製品フローは下記の通りである。



生産段階の端材の一部を除いて、燃料や電力の供給に関わるプロセスはフロー図から省略してある
流通段階以降はCFP-PCRに基づき算定外
※端材の一部はPB生産のエネルギーとして利用される

凡例: 算定するプロセス 算定対象外のプロセス 物質

図 当該製品の製品フロー

【製品の主要仕様・諸元】

- ・主原料：家屋解体材・未利用木材・工場残材・パレット等の廃木材をチップ化したもの
- ・用途：建築用途（住宅床下地、マンション床下地）、外壁下地（構造用耐力面材）、家具用途
- ・JIS 規格（JIS A 5908 パーティクルボード）に準拠

【CFP 算定単位】

製品 1 トン当たり

【CFP 算定結果】

340kg-CO₂e（原材料調達段階 250kg-CO₂e、生産段階 91kg-CO₂e）

（注：端数処理により内訳の合計値と若干異なる場合がある。）

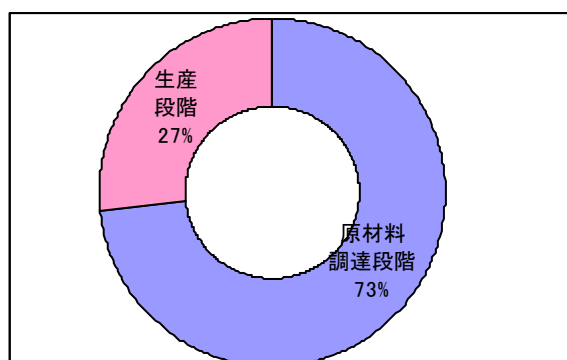


図 当該製品段階別 CFP

【CFP 算定結果の解釈】

- ・ 原材料調達段階における温室効果ガス排出量が 74%と多くなった。これは、購入原料である接着剤の生産に起因するものが大部分だった。ただし、原料使用量は固有データを利用しているが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合がある。また、生産段階での廃棄物輸送距離等の一部データについて CFP-PCR のシナリオの値を利用している。そのため、この CFP 算定結果は概算値である。
- ・ なお、本製品は CFP-PCR に基づく中間財であるため、算定範囲は原材料調達段階から生産段階までである。

【使用した認定 CFP-PCR】

木材・木質材料【第2版】(PA-CC-02)

【利用した二次データの考え方】

基本データベース Ver1.01 を優先して利用しつつ、利用可能データベース Ver1.03 および IDEA Ver.1.1 で補完した。

C. カーボンフットプリント表示拡大

1. CFP 普及促進のためのセミナー

今回事業内容の理解および普及促進のため、民間企業団体を対象に事業説明会を開催した。
事前に才の木ホームページ上に開催の告知し参加を促進した。

【セミナー概要】

- ・ 期間：平成 24 年 12 月 13～15 日
- ・ 名称：カーボンフットプリント（CFP）普及セミナー
- ・ 日時：平成 24 年 6 月 14 日、1500-1630
- ・ 場所：東京大学弥生講堂アネックスエンゼル研究棟講義室
- ・ 参加：25 名

【次第】

15:00 挨拶 認定 NPO 法人才の木 理事長 川井秀一

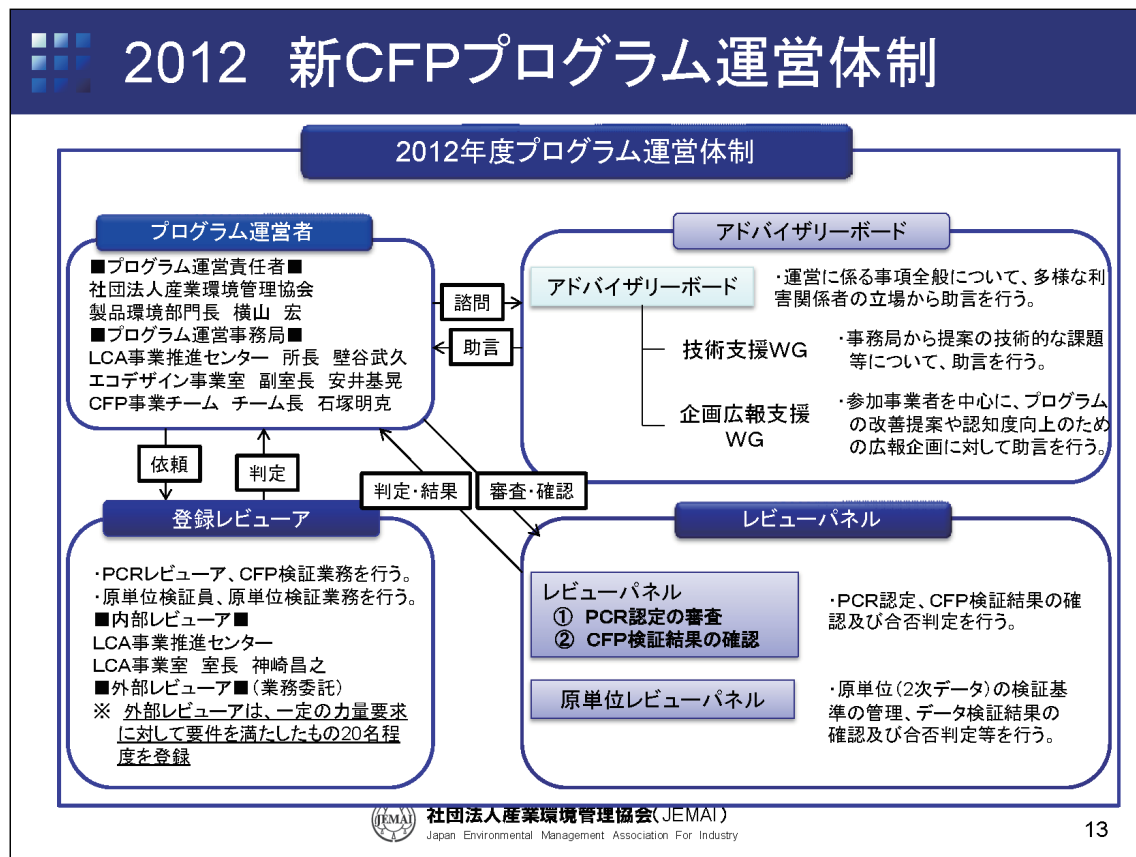
15:05 来賓挨拶 林野庁

15:10 講演 「新 CFP プログラムの概要」 産業環境管理協会 LCA 事業推進センター
所長 壁谷武久

16:20 質疑

【配付資料】

- ・ 配布資料（25 頁）の一部掲示



2. CFP 普及促進のためのエコプロ 2012 展示

今回事業内容の理解および普及促進のため、エコプロ展に才の木ブースを出展した。

【展示概要】

- ・ 期間：平成 24 年 12 月 13～15 日
- ・ 場所：東京ビッグサイト東 4 ホール
- ・ スペース：森林からはじまるエコライフ展 2012 の才の木ブース
- ・ 内容：今回事業紹介パネル、画像、製品サンプル等

【紹介画像】



3. CFP 普及促進のための印刷物

今回事業内容の理解および普及促進ならびに関連する林野補助事業の成果を紹介するためのパンフレットを作成した。産業環境管理協会からの素材提供により企業の販売促進利用も想定し、1500 部作成配布した。

【配布先】

- ・ CFP-PCR 認定企業
- ・ 産業環境管理協会
- ・ 木材学会盛岡大会会場
- ・ その他

【パンフレットの仕様】

- ・ A5 判ヨコ（24 頁）
- ・ 両面 4 色 x 4 色
- ・ 間伐材印刷用紙

【パンフレットの内容】

- ・ 表紙

木材のカーボンフットプリント 事例集 2011-2013



・ 目次

目次		
■はじめに		 1
■カーボンフットプリントとは		 2
■カーボンフットプリントに参加するには		 3
■PA-CC 木材・木質材料		
CV-CC01-008	スターウッドTFB（ホクシン株式会社）	 4
CV-CC01-009	スターウッド（ホクシン株式会社）	 5
CR-CC02-12001	CBウッド（越井木材工業株式会社）	 6
CR-CC02-12002	CBドライ（越井木材工業株式会社）	 7
CR-CC02-12003	モクボードライウッド（大日本木材防腐株式会社）	 8
CR-CC02-12004	モクボード（大日本木材防腐株式会社）	 9
CR-CC02-12005	屋内用ACQ処理木材（株式会社コシイプレザービング）	10
CR-CC02-12006	屋外用ACQ処理木材（株式会社コシイプレザービング）	11
CR-CC02-12007	ウッドファイバーLD（株式会社木の繊維）	12
CR-CC02-12008	マクセラムPL（越井木材工業株式会社）	13
CR-CC02-12009	コシイ防腐防蟻処理構造用合板(2種・BAAC)（越井木材工業株式会社）	14
CR-CC02-12010	コシイ防腐防蟻処理構造用合板(2種・ACQ)（越井木材工業株式会社）	15
CR-CC02-13001	道南杉 ハル壁（株式会社ハルキ）	16
CR-CC02-13002	から松の株式会社サトウ カラマツ製材（株式会社サトウ）	17
CR-CC02-13003	から松の株式会社サトウ カラマツ人工乾燥製材（株式会社サトウ）	18
CR-CC02-13004	コシイ・スーパーサーモ(スギ)（越井木材工業株式会社）	19
■PA-DI 吹き込み用木質繊維断熱材(日本工業規格外品)		
CR-DI01-13001	ウッドファイバーブローイング（株式会社木の繊維）	20

・ 以下略